

基本政策 9

人々のつながりが広がる
文化の香りと平和に包まれたまち

目 次

基本政策9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち

9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	頁
【124】	自治振興事務（地域振興課）・・・・・・・・・・・・・・・・	298
【125】	コミュニティ活動支援事業（地域振興課）・・・・・・・・	300
【126】	地域イベントの開催等事業・・・・・・・・・・・・・・・・	302
【127】	社会貢献活動団体との協働推進事業・・・・・・・・・・	304
【128】	公衆浴場対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	306
【129】	公設浴場管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	308
【130】	区民館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	310
【131】	中央会館「銀座ブロッサム」管理事業・・・・・・・・	312
【132】	セレモニーホール管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	314
【133】	浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業・・・・・	316
【134】	地域コミュニティルーム管理事業（地域振興課）・・	318
【135】	日本橋特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	320
【136】	自治振興事務（日本橋特別出張所）・・・・・・・・	322
【137】	コミュニティ活動支援事業（日本橋特別出張所）・・	324
【138】	地域コミュニティルーム管理事業（日本橋特別出張所）	326
【139】	日本橋公会堂管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	328
【140】	月島特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	330
【141】	自治振興事務（月島特別出張所）・・・・・・・・	332
【142】	コミュニティ活動支援事業（月島特別出張所）・・	334
【143】	地域コミュニティルーム管理事業（月島特別出張所）	336
9-2	豊かな心を育む文化活動の振興	
【144】	地域文化活動の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	338
【145】	郷土天文館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	340
【146】	文化財保護事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	342
9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	
【147】	地域間交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	344
【148】	平和推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	346
【149】	国際交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	348
【150】	「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業・・・・・	350

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	自 治 振 興 事 務	中 事 業 2	中 事 業 3
自治振興事務 (地域振興課)	中 事 業 4		中 事 業 5	中 事 業 6
	中 事 業 7		中 事 業 8	中 事 業 9
	中 事 業 10		中 事 業 11	中 事 業 12
	中 事 業 13		中 事 業 14	中 事 業 15
	中 事 業 16		中 事 業 17	中 事 業 18

1 事業の目的

・町会・自治会からの各種相談・要望事項を的確に把握し、良好な地域コミュニティの維持形成を図るとともに、区政の普及発展および地域コミュニティの活性化に寄与するため、区が行う各種事務事業の周知や各種調査等を町会・自治会に委託する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

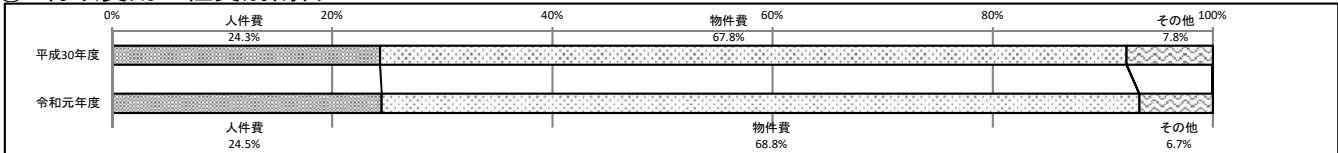
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	15,096,925	15,592,856	495,931	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	42,056,767	43,833,627	1,776,860		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,777,343	2,777,343	0		その他	259,786	284,378	24,592
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		259,786	284,378	24,592
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,079,909	1,475,166	△604,743	行政収支差額		△61,751,158	△63,394,614	△1,643,456
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		62,010,944	63,678,992	1,668,048	通常収支差額		△61,751,158	△63,394,614	△1,643,456
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△61,751,158	△63,394,614	△1,643,456
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		59,584,196	61,575,906	1,991,710
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△2,166,962	△1,818,708	348,254

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・コミュニティ推進事務委託 37,906,600円 ・施設管理業務等委託 864,290円	決算額の主な内訳	・地域集会室他 1,950,023円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫 827,320円
主な増減理由	・対象者数増によるコミュニティ推進事務委託料増 878,700円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・光熱水費(町会倉庫負担分) 284,378円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・使用料増等による光熱水費増 24,592円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

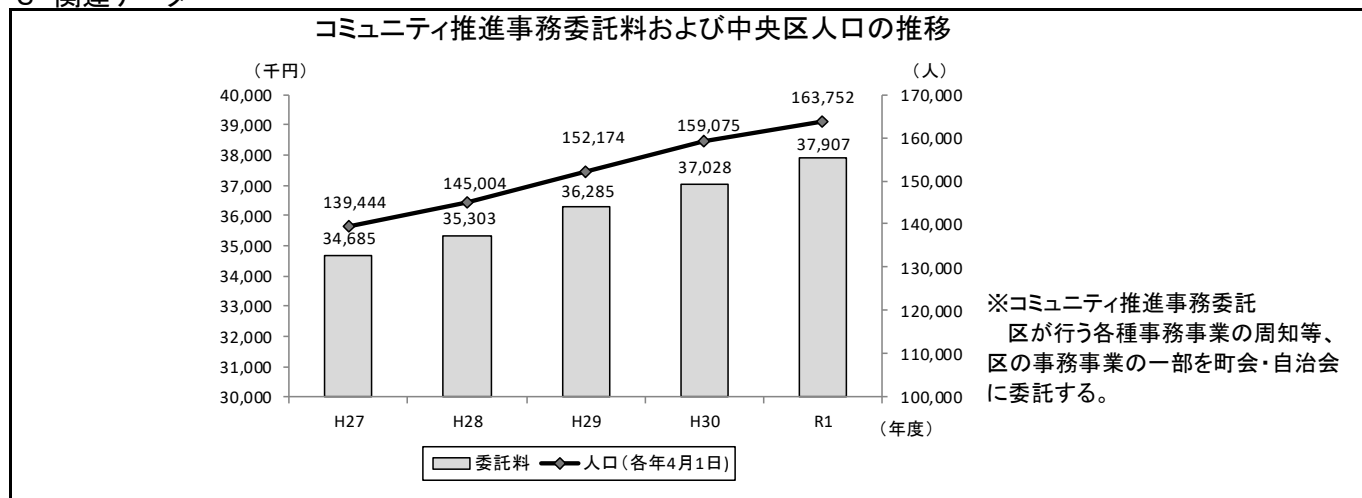
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	878,034	931,407	53,373
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	1,770,683	1,770,683	0	特別区債	0	0	0
建物	91,603,897	88,826,554	△2,777,343	退職給与引当金	15,774,690	14,762,682	△1,012,008
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	1	1	0	負債の部合計	16,652,724	15,694,089	△958,635
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	76,721,857	74,903,149	△1,818,708
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	93,374,581	90,597,238	△2,777,343
資産の部 合計	93,374,581	90,597,238	△2,777,343				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・地域集会室他 58,666,969円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫 30,159,585円	決算額の 主な内訳	・佃三丁目地域集会室敷地 1,770,683円
主な 増減理由	・地域集会室他減価償却による減 △1,950,023円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫減価償却による減 △827,320円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目	重要物品	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・軽自動車 1円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・区が、町会・自治会を通して事業の周知等を行うことにより、区の事業の普及発展および地域コミュニティの活性化に寄与している。また、今後も人口の増加が見込まれているため、コミュニティ推進事務委託料の増加が想定される。

・選手村跡地をはじめとする大規模マンション等における新規団体結成の動向や既存の地域コミュニティとの連携については、コミュニティ連絡相談員を通じて状況を把握し、良好な地域コミュニティの形成を支援していく必要がある。

② 今後の方向性

・町会・自治会に対し、コミュニティ推進事務委託や行政懇談会等のさまざまな機会を捉えて、区の事業を普及発展させ、地域コミュニティを活性化していく。

・コミュニティ連絡相談員を通じて、地域コミュニティに関する動向をより的確に把握するよう努めるとともに、新規団体結成時に適切な支援を行うことで地域コミュニティの活性化を図っていく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	コミュニティ施設(町会・自治会館等)の整備費等助成	中 事 業 2	町会・自治会活動支援	中 事 業 3	町会・自治会ネットワークづくり
コミュニティ活動支援事業 (地域振興課)	中 事 業 4	地域手づくりイベント推進助成	中 事 業 5	地域の盆おどりに対する助成	中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・地域コミュニティのさらなる活性化のため、町会・自治会への加入促進を図るチラシの作成や活動を紹介する情報誌の発行等を行うとともに、地域におけるつながりづくりや地域活動の「担い手」を養成するための講座を開催する。
・各町会・自治会の情報発信および連携を促進し、ネットワークづくりを支援するため「町会・自治会ネット」を運用する。さらに、町会・自治会による「手づくり行事」や「盆踊り大会」の実施を支援するとともに、町会・自治会館等の整備費や賃借料の一部を助成する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

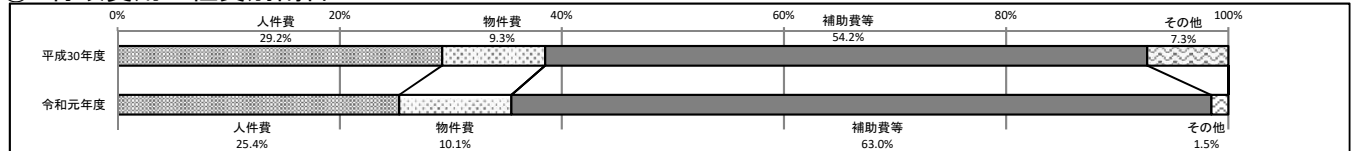
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	12,551,421	10,255,262	△2,296,159	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	3,982,536	4,084,800	102,264		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	23,278,000	25,485,000	2,207,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	2,500,000	2,500,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	2,500,000	2,500,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,139,278	620,938	△2,518,340	行政収支差額		△42,951,235	△37,946,000	5,005,235
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		42,951,235	40,446,000	△2,505,235	通常収支差額		△42,951,235	△37,946,000	5,005,235
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△42,951,235	△35,793,700	7,157,535
特別収入		0	2,152,300	2,152,300	一般財源充当調整		41,954,323	39,087,573	△2,866,750
特別収支差額		0	2,152,300	2,152,300	再計(一般財源調整後)		△996,912	3,293,873	4,290,785

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・地域盆おどり大会助成金 7,300,000円 ・地域手づくりイベント推進助成金 7,121,000円 ・中央区コミュニティ施設賃借料助成金 6,696,000円	決算額の主な内訳	・町会等活性化情報誌「こんにちはは町会です」発行委託 1,518,000円 ・中央区町会・自治会ネットの運営委託 1,231,700円 ・「地域のつながりコミュニティ担い手養成プログラム」の委託 1,134,900円
主な増減理由	・コミュニティ助成事業の開始による補助金皆増 2,500,000円 ・地域手づくりイベント実施件数減(2件)等による補助金減 △1,839,000円 ・地域盆おどり大会実施団体増(6団体)による補助金増 1,600,000円	主な増減理由	・「こんにちはは町会です」特別号の全戸配布による委託料増 387,024円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・コミュニティ助成事業費収入 2,500,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・コミュニティ助成事業の開始による皆増 2,500,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	725,333	620,938	△104,395
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	13,031,266	9,841,788	△3,189,478
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	13,756,599	10,462,726	△3,293,873
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△13,756,599	△10,462,726	3,293,873
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

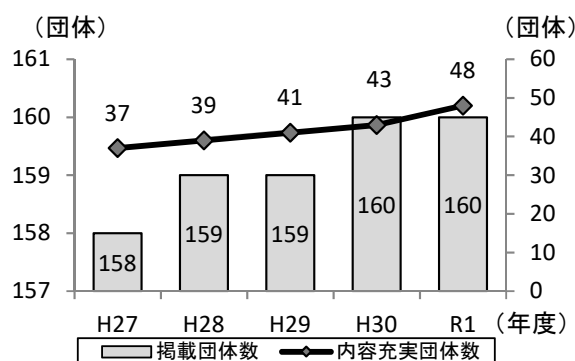
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	H29	H30	R1
コミュニティ施設の整備費等助成(件)	31	31	32
地域手づくりイベント推進助成対象団体数(団体)	63	63	63
〃 助成団体数(団体)	39	35	33
〃 助成件数(件)	53	50	48
地域盆おどり大会助成件数(件)	19	27	34

- 担い手養成プログラムの主な内容
- 事前説明会(全1回)
 - 担い手養成塾(全6回)
 - 修了生フォローアップ講座(全4回)
- 担い手養成塾の講座内容
- 第1回:コミュニティ・つながりの重要性/塾生同士の自己紹介・相互理解
 第2回:中央区の地域コミュニティ活動事例紹介
 第3回:人を惹きつけるイベントの企画・運営・集客
 第4回:組織マネジメントの基礎
 第5回:新たな仲間の巻き込み方
 第6回:地域コミュニティでの実践に向けて
- 担い手養成塾修了生により
 立ち上げられたプロジェクト
 ・「月島長屋の子ども食堂」
- 担い手養成塾修了生(H27-R1総数)
 83人

中央区町会・自治会ネット掲載団体数等



4 総括

① 現状・成果・課題

・地域における顔の見えるつながりや生きがいとしての地域活動を学ぶ担い手養成塾の講座を開催し、不足している地域活動の担い手を発掘・養成することにより、地域コミュニティの課題を主体的に解決することを推進している。担い手養成塾の修了生の総数は、83人と平成30年度の67人から増加しており、担い手養成塾修了生同士の交流から、新規プロジェクト「月島長屋の子ども食堂」が開始されているものの、地域コミュニティの担い手となる修了生をさらに増加する必要がある。

・町会・自治会が主体となって行う地域のイベントや盆踊り大会の開催支援は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止(9件)により、イベント推進助成件数が平成30年度と比較し減少したものの、地域盆おどり大会助成件数については増加しており、本事業は多くの区民が地域でふれあい、交流する契機づくりに寄与している。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、今後の盆踊り等イベントのあり方については、地域と協議していく必要がある。

・町会・自治会への加入促進や地域活動への参加を促すため、町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」の特別号を発刊した。

・各町会・自治会の紹介および活動内容を掲載している「中央区町会・自治会ネット」は、内容充実団体数が増加しており、情報発信と町会・自治会同士の連携強化に寄与している。情報発信手法が多様化する中で「町会・自治会ネット」の内容をさらに充実するため、町会・自治会が独自に発信する情報との連携を推進していく必要がある。

② 今後の方向性

・担い手養成塾を実施し、さまざまな団体と区民の連携を支援するとともに、まちの課題を自ら解決できる修了生を増やしていくことで、「プロアクティブ・コミュニティ」の確立を目指す。また、修了生同士の交流の場の提供や協働ステーション中央の相談事業によるフォローアップの実施により、修了生とさまざまな団体との連携を支援し、町会・自治会活動をはじめ地域活動の広がりを促進していく。

・これまでの伝統的な地域コミュニティのネットワークを日々進歩するインターネットを介したコミュニティにおいても展開し、本区の地域コミュニティがさらに発展するよう、既存の情報発信事業の充実を図るとともに、町会・自治会の青年部に向けた周知活動の実施とSNS等により独自に発信している情報と「町会・自治会ネット」との連携を強化していく。

・人口増加が続く中、愛着が持てるまち、心が通い合うコミュニティを形成するため、引き続き町会・自治会等と連携しながら、地域のイベントを支援していく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	大江戸まつり盆おどり大会	中事業2	隅田川花火大会	中事業3	区民還暦祝い事業
地域イベントの開催等事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・各種地域事業を開催することで、多くの区民がふれあい、交流することにより、ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図る。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

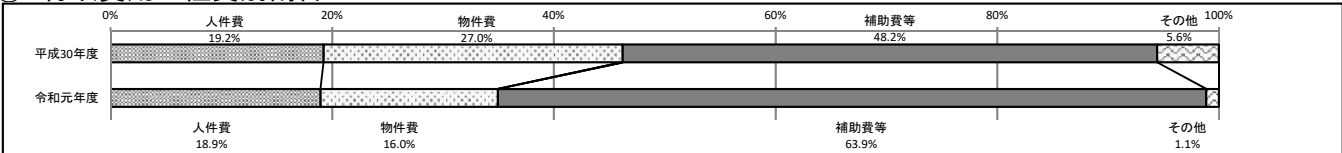
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	18,538,960	14,715,693	△3,823,267	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	26,024,507	12,431,958	△13,592,549		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	46,521,000	49,653,000	3,132,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	2,000,000	2,000,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	2,000,000	2,000,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,374,247	892,599	△4,481,648	行政収支差額		△96,458,714	△75,693,250	20,765,464
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		96,458,714	77,693,250	△18,765,464	通常収支差額		△96,458,714	△75,693,250	20,765,464
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△96,458,714	△72,127,793	24,330,921
特別収入		0	3,565,457	3,565,457	一般財源充当調整		94,199,508	77,360,505	△16,839,003
特別収支差額		0	3,565,457	3,565,457	再計(一般財源調整後)		△2,259,206	5,232,712	7,491,918

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・「大江戸まつり盆おどり大会」実施に伴う補助金 45,406,000円 ・「隅田川花火大会」の共催に伴う補助金 2,760,000円	決算額の主な内訳	・「区民還暦祝い事業」実施委託 7,628,500円 ・「区民還暦祝い事業」祝い品作製等委託 4,420,000円
主な増減理由	・「大江戸まつり盆おどり大会」における特別区全国連携プロジェクト関連事業を含む事業拡大に伴う補助金増 2,744,000円 ・「隅田川花火大会」人件費等の増に伴う補助金増 260,000円	主な増減理由	・「雪まつり」隔年開催による会場設営等委託料等の皆減 △14,625,359円 ・「区民還暦祝い事業」対象者増による祝い品作製等委託料増 820,000円 ・「区民還暦祝い事業」対象者増による実施委託料増 219,700円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・特別区全国連携プロジェクト関連事業費収入 2,000,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・「大江戸まつり盆おどり大会」が特別区全国連携プロジェクト関連事業の対象となったことによる皆増 2,000,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

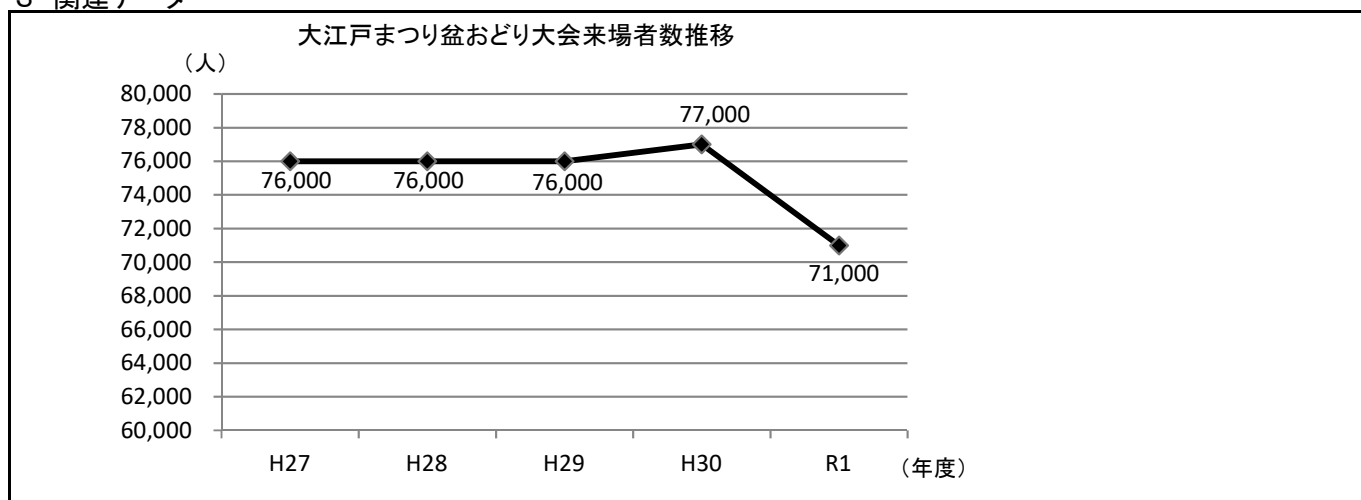
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	1,068,911	892,599	△176,312
土地	0	0	0	その他	0	0	0
建物	0	0	0	固定負債			
工作物	0	0	0	特別区債	0	0	0
重要物品	0	0	0	退職給与引当金	19,203,970	14,147,570	△5,056,400
インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	20,272,881	15,040,169	△5,232,712
その他	0	0	0	正味財産の部合計	△20,272,881	△15,040,169	5,232,712
資産の部 合計	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・大江戸まつり盆おどり大会は、令和元年度は初日に一時的に雨が降ったため、やぐら舞台の演目が一部中止になるなど、天候に左右される面はあるが、来場者数は高い水準で推移しており、区内の町会等各団体の協力を得て開催するイベントとして地域の活性化や区民のふるさと意識の高揚に寄与している。
- ・令和元年度のみ、大江戸まつり盆おどり大会に参加している友好・交流都市やアンテナショップ等のご当地マスコットキャラクターを誘致し、地域の魅力発信の機会を充実させたことにより、地域の発展とともに地域間連携の強化に寄与した。
- ・中央区大江戸まつり実行委員会では、区からの補助金のほか提灯協賛を区内企業等から得ることで自主財源の確保に努めている。
- ・イベントの実施において、来場者の安全対策を最優先としているが、人口の増加により、さらに多くの来場者が見込まれるため、大江戸まつり盆おどり大会では会場の配置を一部見直し、会場内の盆踊りスペースを確保するなど今後も来場者が安全に安心して楽しめるイベントとして運営していく必要がある。
- ・区民還暦祝い事業の「還暦のつどい」は、還暦を迎える区民の人生の節目を祝福し、学びへの意識高揚や社会貢献活動の参加の契機とするために実施しているが、定年延長等による還暦対象者の意識の変化等に伴い、参加率低下の傾向が見られるため、事業の見直しを行う。

② 今後の方向性

- ・大江戸まつり盆おどり大会は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため開催中止を決定したが、今後も本事業をはじめ、各種の地域事業を通じて、区民が交流するきっかけづくりの場を引き続き提供していく。
- ・イベントの実施において、来場者の安全確保を図るため、会場の限られたスペースを有効活用するなど、より安全な運営に努めていく。
- ・参加率が低い「還暦のつどい」を令和2年度に廃止する一方、協働ステーション中央で実施する見本市を充実させ、対象者に地域活動紹介について案内することで、これまで培った知識や経験・能力をいかし、地域活動に参加する契機としていく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	社会貢献活動団体との協働の推進	中 事 業 2		中 事 業 3	
社会貢献活動団体との協働推進事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

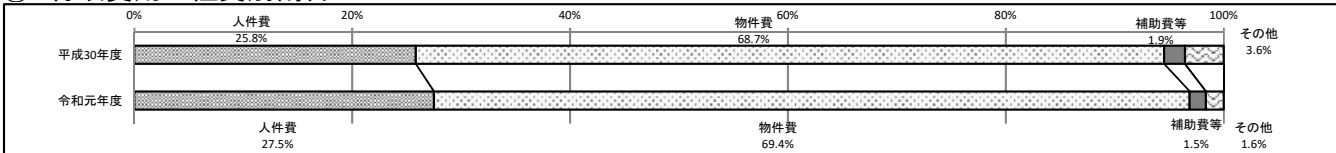
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	8,533,044	8,425,452	△107,592	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	22,697,805	21,273,300	△1,424,505		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	900,000	715,000	△185,000
	補助費等	631,000	454,000	△177,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	26,390	16,980	△9,410
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		926,390	731,980	△194,410
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,175,600	504,512	△671,088	行政収支差額		△32,111,059	△29,925,284	2,185,775
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		33,037,449	30,657,264	△2,380,185	通常収支差額		△32,111,059	△29,925,284	2,185,775
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△32,111,059	△29,848,315	2,262,744
特別収入		0	76,969	76,969	一般財源充当調整		32,456,058	30,759,759	△1,696,299
特別収支差額		0	76,969	76,969	再計(一般財源調整後)		344,999	911,444	566,445

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・協働ステーション中央管理運営業務委託 14,386,910円 ・社会貢献活動情報サイト運用業務委託 1,449,700円 ・協働提案事業委託 1,429,200円	決算額の主な内訳	・協働推進会議委員謝礼 454,000円
主な増減理由	・平成28年度採択協働提案事業(委託料)皆減 △1,629,000円	主な増減理由	・協働推進会議開催回数の減少に伴う委員謝礼減 △177,000円

勘定科目	都支支出金	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・平成29年度採択協働提案事業(バリアフリーマップ作成事業)に対する地域福祉推進事業費都補助金(包括補助) 715,000円	決算額の主な内訳	・コピー機等利用に伴う受益者負担金 16,980円
主な増減理由	・事業内容変更による補助金減 △185,000円	主な増減理由	・コピー機等利用に伴う受益者負担金実績減 △9,410円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	496,280	504,512	8,232
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	1	1	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	8,916,129	7,996,453	△919,676
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	9,412,409	8,500,965	△911,444
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△9,412,408	△8,500,964	911,444
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1	1	0
資産の部 合計	1	1	0				

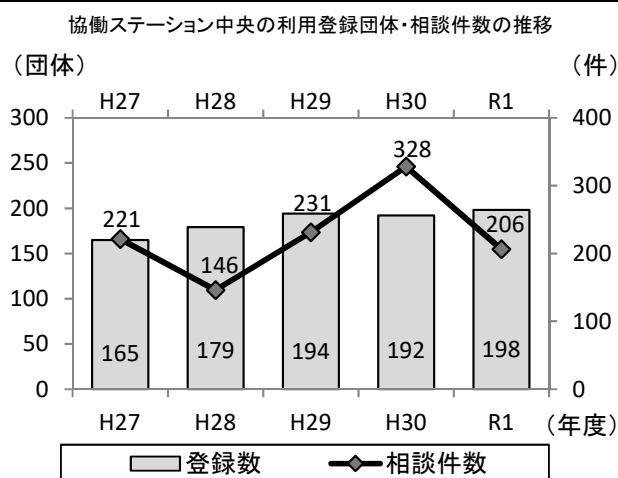
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・協働ステーション中央(S3年竣工) 1円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
社会貢献活動情報サイト登録数(団体)	132	139
社会貢献活動情報サイト年間アクセス数(件)	7,588	8,004
協働提案事業通算採択数(件)	16	18

- ・中央区協働推進会議の提言による協働の仕組みに基づき、協働提案事業1事業を実施。(H29採択分)
- ＜H29採択事業(R1実施分)＞
- 中央区を知る、もっと知る、みんなで作り上げるバリアフリーマップ作成事業
- 実施団体 特定非営利活動法人 リーブ・ウィズ・ドリーム
- 参加者数 ボランティア講習会(1クール2日×3回) 56人
- 企業ボランティア活動調査 3回 44人
- ・協働活動を支える人材の育成、社会貢献活動の情報発信として各種講座を実施。(8回開催、延べ参加者数213人)



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・協働ステーション中央の協働事業提案等に関する相談件数について、過去5年間の平均が200件を超えており、社会貢献活動への参画意識の醸成に協働ステーション中央が寄与している。今後も社会貢献活動の裾野を広げるため、登録団体へのさらなる支援が必要である。
- ・区内在住・在勤者への支援として、団体育成を目的とした入門講座等各種講座を実施したが、今後も企業の力をいかした地域活動を推進していく必要がある。
- ・区民等の地域活動への興味・関心を高めるため、社会貢献活動情報サイト等を通じて、協働ステーション中央が実施する講座の周知や登録団体の情報発信、登録団体相互の情報交換に対する支援等を行った。サイトアクセス数についても堅調に増加しており、社会貢献活動の活性化に寄与した。
- ・協働提案事業については継続の1事業を実施した。令和元年度に公募した協働提案事業については中央区協働推進会議において2事業が採択され、着実に協働が進んでいる。
- ・行政収入では、財源確保の観点から、実施する協働提案事業に係る国や東京都等の補助金を積極的に活用していく必要がある。

② 今後の方向性

- ・協働ステーション中央は、登録団体とさまざまな主体を結びつけるコーディネート機能の強化を図るとともに、社会貢献活動への関心が高い企業の意向を踏まえながら、中間支援拠点としての機能をいかしたネットワークの強化を図っていく。
- ・社会貢献活動情報サイト等を活用して、区民等が興味・関心を持って地域活動に参加できる環境づくりを整えるとともに、情報発信や情報交換の場を提供することにより、各種団体の活動支援を行っていく。
- ・協働事業提案をすることができる団体を増加させ、社会貢献活動の裾野を広げるため、社会貢献活動団体が行う幅広い事業への支援を検討し、より多様化する区民ニーズに応える質の高い行政サービスの提供を図るとともに、区民等の積極的な地域活動への参加を促し、地域の課題を自ら解決できる「地域力」の向上につなげていく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	公衆浴場対策	中事業2	コミュニティふれあい銭湯	中事業3	
公衆浴場対策事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・公衆浴場の経営の安定を図ることにより、転廃業を防止し、区民の保健衛生の向上を目的として、公衆浴場の設備等整備・燃料費等に要する経費の一部を補助するとともに、浴場事業の振興に要する経費の一部を、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合中央支部に対して補助する。また、世代間の交流や在住・在勤者のふれあいを通じてコミュニティ意識を育むため、区内の全公衆浴場において「コミュニティふれあい銭湯」を開設している。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

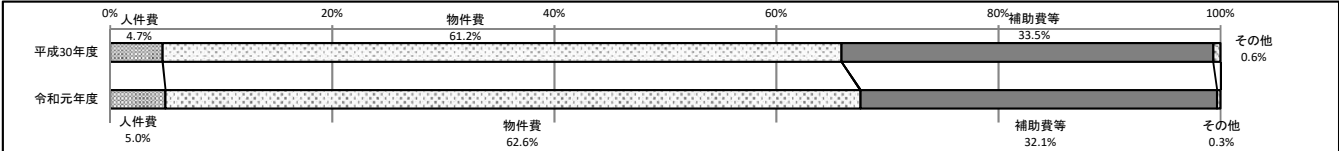
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	3,281,940	3,240,560	△41,380	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	42,592,035	40,853,673	△1,738,362		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	23,325,453	20,972,354	△2,353,099		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	452,154	194,043	△258,111		行政収支差額	△69,651,582	△65,260,630	4,390,952
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		69,651,582	65,260,630	△4,390,952		通常収支差額	△69,651,582	△65,260,630	4,390,952
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△69,651,582	△65,231,027	4,420,555
特別収入		0	29,603	29,603		一般財源充当調整	69,784,274	65,581,582	△4,202,692
特別収支差額		0	29,603	29,603	再計(一般財源調整後)		132,692	350,555	217,863

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・ふれあい銭湯開設委託 40,669,920円	決算額の主な内訳	・公衆浴場対策事業実施に対する区補助金 20,972,354円
主な増減理由	・浴場の休業によるふれあい銭湯開設委託料減 △1,822,680円	主な増減理由	・公衆浴場対策事業実施に対する区補助金実績減による補助金減 △2,353,099円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	190,877	194,043	3,166
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	3,429,280	3,075,559	△353,721
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	3,620,157	3,269,602	△350,555
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△3,620,157	△3,269,602	350,555
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

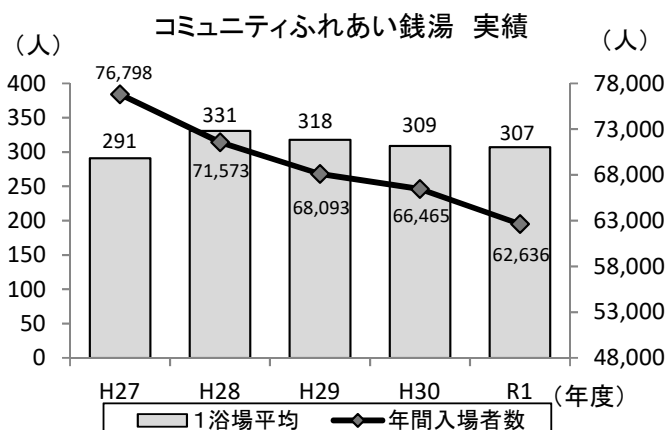
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

設備整備費補助等実績

補助対象事業	平成30年度	令和元年度
かまの更新(件)	0	0
温水器の更新(件)	0	1
浴室および脱衣室塗装(件)	1	0
ポンプの更新(件)	0	0
煙突補修(件)	0	0
浴室等修繕(件)	4	3
クリーンエネルギー化(件)	2	0
耐震化(件)	0	0
燃料費等補助金(浴場)	9	9



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・公衆浴場対策は、公衆浴場の安定経営を図ることにより、転廃業を防止することで、区民の入浴機会を確保している。
- ・銀座湯改修工事に伴う休業等により、コミュニティふれあい銭湯の年間入場者数が減少した。
- ・公衆浴場の活性化を図るとともにコミュニティ形成のための新たな場とするため、改修工事により休業中の銀座湯を活用した映画観賞会「テアトル「銀座湯」」を試行的に実施し、幅広い世代の区内公衆浴場の認知度向上に寄与した。
- ・コミュニティふれあい銭湯は、公衆浴場対策の一面もある一方で、さらなる世代間交流やコミュニティ意識形成のため、他事業との連携や周知の拡大を図る必要がある。

② 今後の方向性

- ・引き続き公衆浴場対策を実施することで、公衆浴場の安定経営および区民の入浴機会の確保ならびに公衆衛生の向上を図る。
- ・世代間交流やコミュニティ意識形成をさらに促進するため、コミュニティふれあい銭湯を引き続き実施するとともに、公衆浴場のさらなる周知について検討する。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	公設浴場の維持管理	中事業2	中事業3
公設浴場管理事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・区が都心地域に公衆浴場を確保するために設置した公設浴場の維持管理を行うことにより、区民の入浴機会の確保と公衆衛生の向上を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

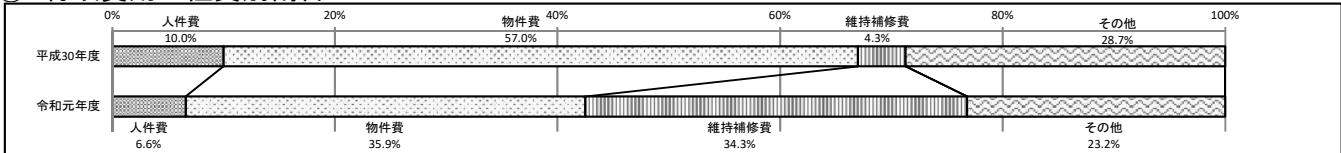
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,969,163	1,944,335	△24,828	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	11,241,118	10,585,223	△655,895		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	841,881	10,108,773	9,266,892		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	1,331,640	1,331,640		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	5,394,359	5,394,359	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,292	116,426	△154,866	行政収支差額		△19,717,813	△29,480,756	△9,762,943
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		19,717,813	29,480,756	9,762,943	通常収支差額		△19,717,813	△29,480,756	△9,762,943
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△19,717,813	△29,462,994	△9,745,181
特別収入		0	17,762	17,762	一般財源充当調整		14,403,070	24,278,968	9,875,898
特別収支差額		0	17,762	17,762	再計(一般財源調整後)		△5,314,743	△5,184,026	130,717

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・入船湯給湯ボイラー等設備保守等委託 4,641,615円 ・入船湯賃料および共益費 3,028,320円 ・十思湯光熱水費(共用部) 934,402円	決算額の主な内訳	・銀座湯内部改修その他工事 8,635,000円
主な増減理由	・高架水槽等の清掃およびポンプ類保守点検業務委託等実績減による委託料減 △553,514円	主な増減理由	・銀座湯内部改修その他工事皆増 8,635,000円

勘定科目	減価償却費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・十思湯 5,394,359円	決算額の主な内訳	・中央区立水谷橋公園および水谷橋公園内保育所整備工事(銀座湯負担分) 1,331,640円
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	・中央区立水谷橋公園および水谷橋公園内保育所整備工事皆増 1,331,640円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

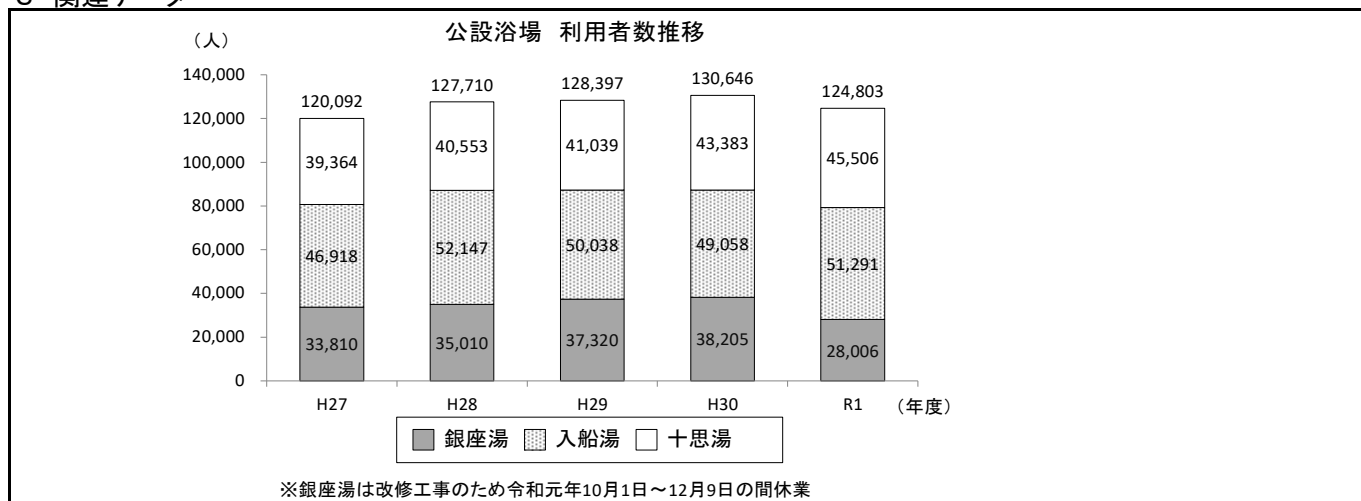
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	114,526	116,426	1,900
固定資産				その他	0	0	0
土地	106,264,000	106,264,000	0	固定負債			
建物	248,140,533	242,746,174	△5,394,359	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	2,057,568	1,845,335	△212,233
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	2,172,094	1,961,761	△210,333
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	352,232,439	347,048,413	△5,184,026
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	354,404,533	349,010,174	△5,394,359
資産の部 合計	354,404,533	349,010,174	△5,394,359				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・十思湯 242,746,173円 ・銀座湯(S50年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	・銀座湯敷地 106,264,000円
主な 増減理由	・十思湯減価償却による減 △5,394,359円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。
- ・公衆浴場の利用者は一定数を保っており、公衆浴場の利用ニーズに依っている。
- ・令和元年度は、銀座湯の改修工事を実施し、設備の改善を図った。

② 今後の方向性

- ・利用者が安心して施設を利用できるよう適切な維持管理を継続し、必要に応じて修繕等を行っていく。
- ・コミュニティの形成や高齢者の生きがい・健康増進の観点からさらなる利用者の増加を図るため、公設浴場を含めた公衆浴場のより一層の周知を行っていく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	区民館の管理運営	中事業2	人形町区民館建物取得(償還費)	中事業3	八丁堀区民館の改築(設計)
区民館管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・町会・自治会のコミュニティ活動の場の確保・充実等により、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、会議、講習会、サークルの集い等に利用できる集会施設として区民館を管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

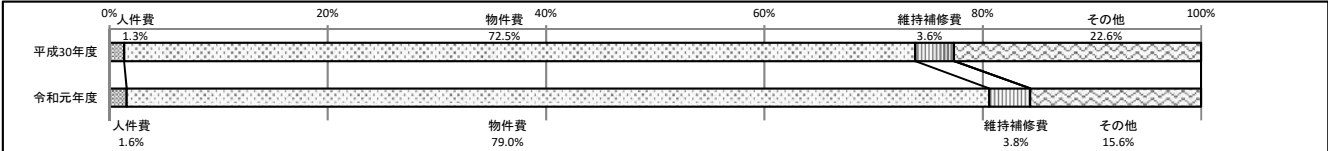
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,251,103	5,871,181	620,078	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	282,213,262	293,521,664	11,308,402		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	13,834,584	14,002,854	168,270		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	30,294,000	0	△30,294,000		使用料及び手数料	99,318,812	97,640,468	△1,678,344
	減価償却費	57,154,291	57,154,291	0		その他	100,072	100,140	68
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		99,418,884	97,740,608	△1,678,276
	賞与・退職給与引当金繰入額	723,446	981,848	258,402	行政収支差額		△290,051,802	△273,791,230	16,260,572
	その他	0	0	0	金融収支差額		△3,106,410	△2,867,456	238,954
	小 計	389,470,686	371,531,838	△17,938,848	通常収支差額		△293,158,212	△276,658,686	16,499,526
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△293,158,212	△276,658,686	16,499,526
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		236,216,228	219,411,363	△16,804,865
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△56,941,984	△57,247,323	△305,339

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	- 指定管理料 246,189,369円 - 光熱水費 25,840,717円	決算額の主な内訳	区民館(明石町他14区民館) 57,113,314円
主な増減理由	消費税増税による指定管理料等委託料増 11,298,589円	主な増減理由	増減なし

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	- 銀座区民館外壁改修工事 7,546,000円 - 人形町区民館自動火災報知設備等改修工事 3,641,110円 - 堀留町区民館等喫煙所撤去工事 1,073,131円	決算額の主な内訳	区民館使用料 97,205,730円
主な増減理由	銀座区民館外壁改修等工事による工事費増 168,270円	主な増減理由	利用者減による使用料減 △2,045,070円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

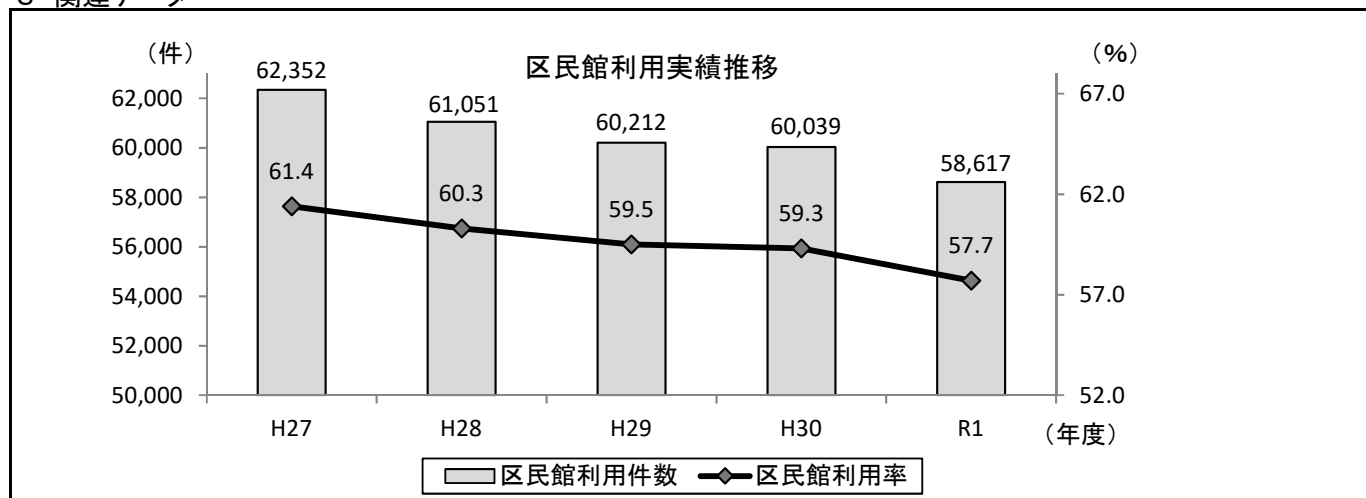
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	305,403	349,278	43,875
				その他	16,146,000	16,146,000	0
固定資産				固定負債			
土地	1,085,891,742	1,085,891,742	0	特別区債	0	0	0
建物	1,359,774,401	1,302,474,283	△57,300,118	退職給与引当金	5,486,849	5,536,006	49,157
工作物	429,552	388,575	△40,977	その他	177,606,000	161,460,000	△16,146,000
重要物品	0	0	0	負債の部合計	199,544,252	183,491,284	△16,052,968
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	2,246,551,443	2,235,461,616	△11,089,827
建設仮勘定	0	30,198,300	30,198,300				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	2,446,095,695	2,418,952,900	△27,142,795
資産の部 合計	2,446,095,695	2,418,952,900	△27,142,795				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・区民館(明石町他15区民館) 1,302,474,283円	決算額の主な内訳	・区民館等敷地(明石町他7区民館) 1,085,891,742円
主な増減理由	・区民館(明石町他14区民館)減価償却による減 △57,300,118円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	その他(固定負債)
決算額の主な内訳	・八丁堀区民館等複合施設(区民館)建設工事設計業務委託 30,198,300円	決算額の主な内訳	・人形町保育園等複合施設の施設整備費 161,460,000円
主な増減理由	・八丁堀区民館等複合施設(区民館)建設工事設計業務委託による委託料皆増 30,198,300円	主な増減理由	・人形町保育園等複合施設の施設整備費償還による固定負債減 △16,146,000円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・八丁堀区民館等複合施設改築工事の実施設計を行った。
 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少した。
 ・今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行うことで、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援していく。
 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、国・東京都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	中央会館「銀座プロッサム」の管理運営	中事業2		中事業3	
中央会館「銀座プロッサム」管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民の文化の向上に寄与し、その福祉の増進を図るため、各種設備を備えたホール、結婚式場、集会室を整備し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

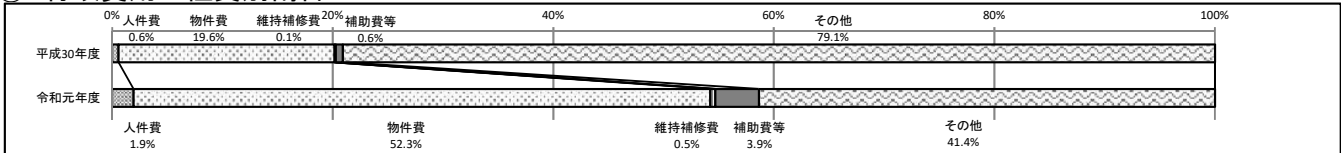
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,251,103	5,184,894	△66,209	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	183,453,222	139,633,634	△43,819,588		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	972,000	1,299,100	327,100		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	6,030,710	10,537,930	4,507,220		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	711,808,600	0	△711,808,600		使用料及び手数料	20,165,141	30,637,352	10,472,211
	減価償却費	27,693,258	110,168,529	82,475,271		その他	2,089,987	1,039,280	△1,050,707
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		22,255,128	31,676,632	9,421,504
	賞与・退職給与引当金繰入額	723,447	310,469	△412,978	行政収支差額		△913,677,212	△235,457,924	678,219,288
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		935,932,340	267,134,556	△668,797,784	通常収支差額		△913,677,212	△235,457,924	678,219,288
特別費用		14	0	△14	当期収支差額		△911,077,227	△235,410,558	675,666,669
特別収入		2,599,999	47,366	△2,552,633	一般財源充当調整		886,196,261	125,802,918	△760,393,343
特別収支差額		2,599,985	47,366	△2,552,619	再計(一般財源調整後)		△24,880,966	△109,607,640	△84,726,674

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・指定管理料 139,061,886円	決算額の主な内訳	・利用料金減免額の補填 6,505,630円 ・利用料金還付額の補填 4,032,300円
主な増減理由	・大規模改修工事完了に伴う事務所移転作業等減による指定管理料減 △40,396,139円	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金還付額の補填皆増 4,032,300円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・袖看板パネル取付工事 1,299,100円	決算額の主な内訳	・中央会館レストラン等使用料 28,940,976円
主な増減理由	・袖看板パネル取付工事皆増 1,299,100円 ・事務室内空調改修工事皆減 △972,000円	主な増減理由	・使用許可期間増による中央会館レストラン等使用料増 10,120,073円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

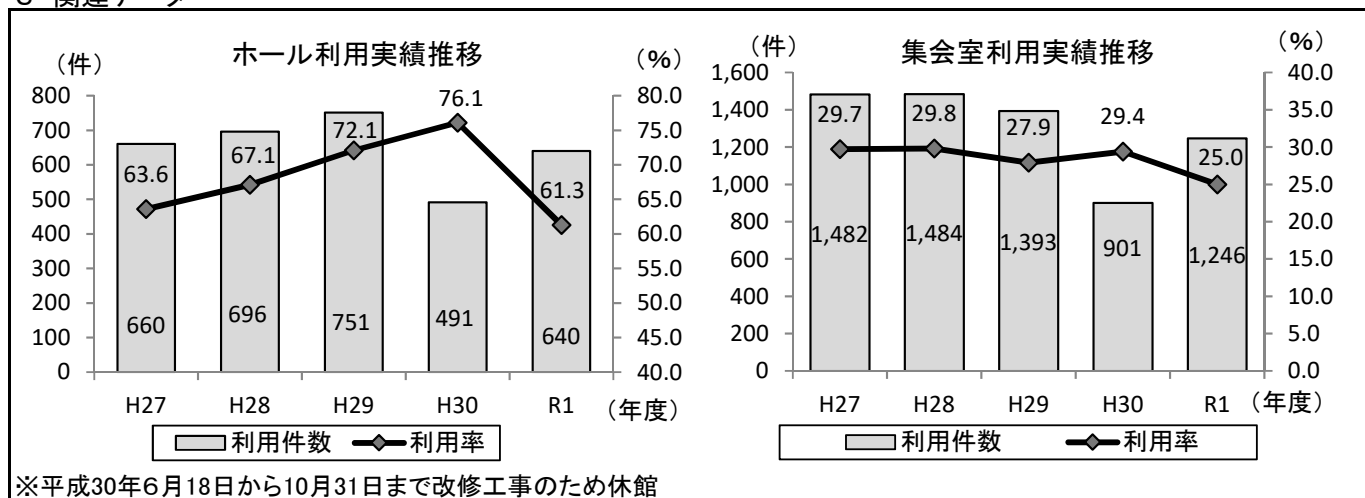
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	305,403	310,469	5,066
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	612,997,600	612,997,600	0	特別区債	0	0	0
建物	1,311,324,785	1,206,174,773	△105,150,012	退職給与引当金	5,486,849	4,920,894	△565,955
工作物	1,755,772	1,618,854	△136,918	その他	0	0	0
重要物品	23,198,407	18,316,808	△4,881,599	負債の部合計	5,792,252	5,231,363	△560,889
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,943,484,312	1,833,876,672	△109,607,640
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,949,276,564	1,839,108,035	△110,168,529
資産の部 合計	1,949,276,564	1,839,108,035	△110,168,529				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・中央会館 1,206,174,773円	決算額の主な内訳	・中央会館敷地 612,997,600円
主な増減理由	・中央会館減価償却による減 △105,150,012円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	重要物品	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	・グランドピアノ 18,316,800円	決算額の主な内訳	・連続地中壁増深部分 1,618,854円
主な増減理由	・グランドピアノ減価償却による減 △4,579,200円	主な増減理由	・連続地中壁増深部分減価償却による減 △136,918円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用件数が減少した。
- ・今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。
- ・令和2年3月、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設利用休止により、指定管理者が利用予定者に返金等の対応を行ったものについてその相当額を補填した。

② 今後の方向性

- ・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行うことで、区民の文化の向上に寄与する役割を果たしていく。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、国・東京都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	セレモニーホールの管理運営	中事業2	セレモニーホールの改修(設計)	中事業3	
セレモニーホール 管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民が葬儀のほか法要、集会、会議等に利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

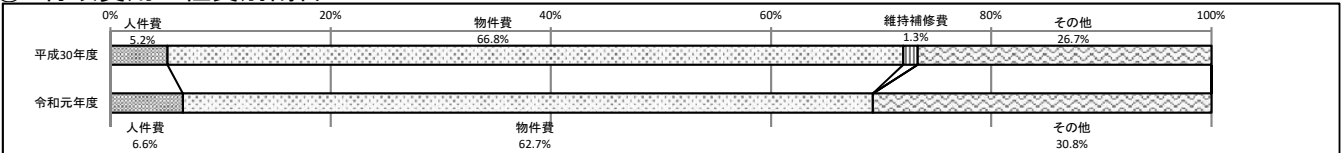
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,969,164	2,630,622	661,458	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	25,378,737	25,072,643	△306,094		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	496,800	0	△496,800		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	1,625,184	1,625,184		使用料及び手数料	9,571,400	9,172,800	△398,600
	減価償却費	9,863,602	9,863,602	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	9,571,400	9,172,800	△398,600
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,292	817,407	546,115		行政収支差額	△28,408,195	△30,836,658	△2,428,463
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		37,979,595	40,009,458	2,029,863	通常収支差額		△28,408,195	△30,836,658	△2,428,463
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△28,408,195	△30,836,658	△2,428,463
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		18,624,209	20,529,469	1,905,260
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△9,783,986	△10,307,189	△523,203

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・セレモニーホール業務委託 14,827,978円 ・エレベーター設備保守等委託 6,552,464円 ・光熱水費 2,288,125円	決算額の主な内訳	・セレモニーホール 9,827,182円 ・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁 36,420円
主な増減理由	・特定建築物等定期調査皆減 △559,844円 ・シーツ等クリーニング皆減 △90,720円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	投資的経費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・冷暖房設備改修工事設計業務委託 1,625,184円	決算額の主な内訳	・セレモニーホール使用料 9,172,800円
主な増減理由	・冷暖房設備改修工事設計業務委託皆増 1,625,184円	主な増減理由	・利用実績減による使用料減 △398,600円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

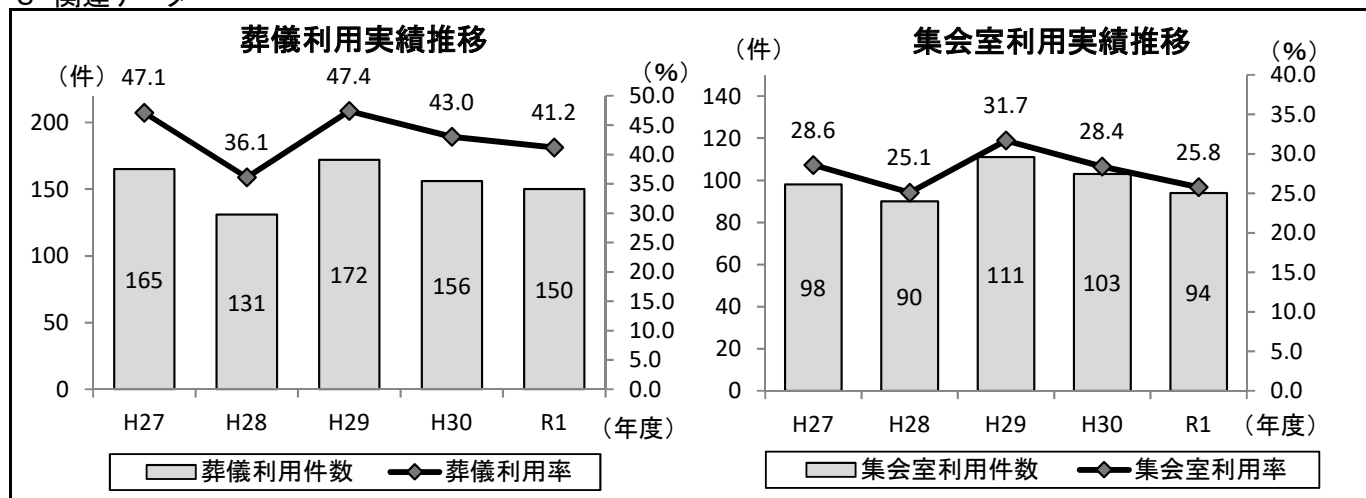
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	114,526	155,234	40,708
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	120,548,000	120,548,000	0	特別区債	0	0	0
建物	265,333,952	255,506,770	△9,827,182	退職給与引当金	2,057,568	2,460,447	402,879
工作物	983,340	946,920	△36,420	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	2,172,094	2,615,681	443,587
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	384,693,198	374,386,009	△10,307,189
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	386,865,292	377,001,690	△9,863,602
資産の部 合計	386,865,292	377,001,690	△9,863,602				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・セレモニーホール 255,506,770円	決算額の 主な内訳	・セレモニーホール等敷地 120,548,000円
主な 増減理由	・セレモニーホール減価償却による減 △9,827,182円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・セレモニーホール・勝どきコミュニティールーム擁壁 946,920円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	・セレモニーホール・勝どきコミュニティールーム擁壁減価償却による減 △36,420円	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・設備の老朽化に伴い、冷暖房設備改修工事の実施設計を行った。
 ・今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。令和2年度は、空調設備の改修工事を行い、設備の改善を図っていく。

令和2年度（令和元年度分）事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理運営	中事業2		中事業3	
浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・葬儀利用はもとより、集会、会議等、区民の交流やコミュニティの場として利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

（単位：円）

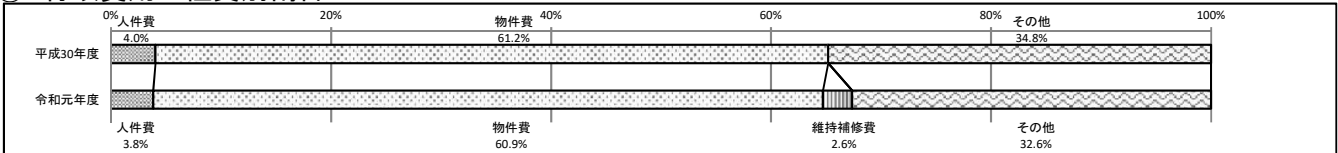
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,665,576	2,592,446	△73,130	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	40,432,932	41,207,732	774,800		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	1,786,132	1,786,132		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	6,226,520	5,511,360	△715,160
	減価償却費	21,938,688	21,938,688	0		その他	44,700	0	△44,700
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	6,271,220	5,511,360	△759,860
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,072,269	155,234	△917,035		行政収支差額	△59,838,245	△62,168,872	△2,330,627
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		66,109,465	67,680,232	1,570,767	通常収支差額		△59,838,245	△62,168,872	△2,330,627
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△59,838,245	△62,145,189	△2,306,944
特別収入		0	23,683	23,683	一般財源充当調整		37,255,141	40,486,946	3,231,805
特別収支差額		0	23,683	23,683	再計（一般財源調整後）		△22,583,104	△21,658,243	924,861

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・指定管理料 41,046,086円	決算額の主な内訳	・浜町集会施設 21,497,283円 ・浜町集会施設車路フェンス 222,105円 ・浜町集会施設現場打ち側溝 156,332円
主な増減理由	・消費税増税による指定管理料増 651,256円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・外部建具改修工事 1,786,132円	決算額の主な内訳	・浜町集会施設使用料 5,511,360円
主な増減理由	・外部建具改修工事皆増 1,786,132円	主な増減理由	・葬儀利用減による使用料減 △715,160円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

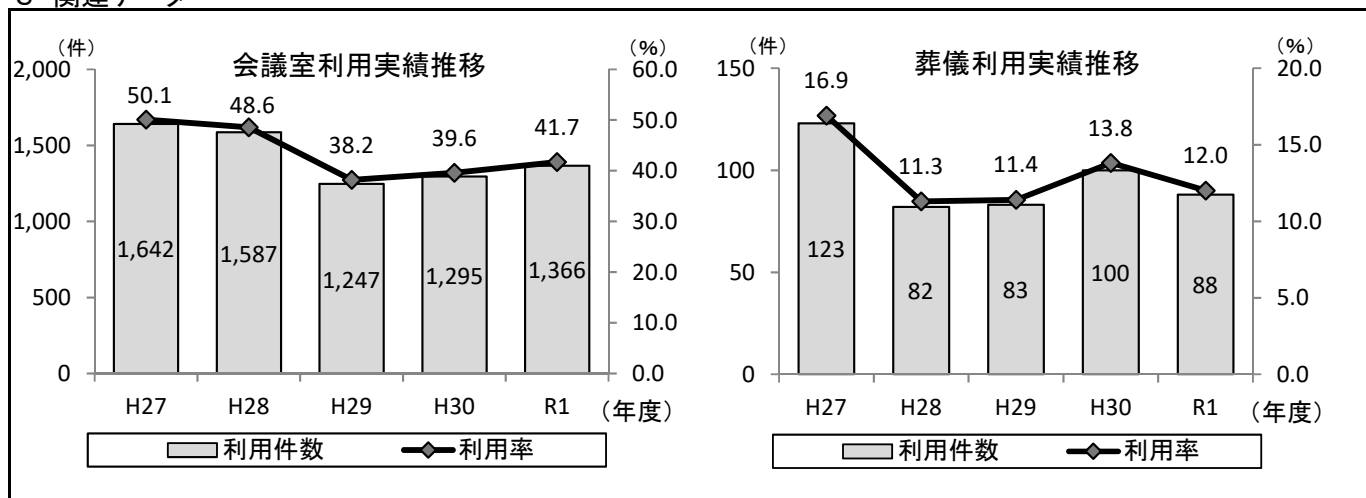
(単位:円)

勘定科目				勘定科目			
		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A			差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	152,702
固定資産	土地	331,255,656	331,255,656	0	固定負債	その他	0
	建物	881,388,644	859,891,361	△21,497,283		特別区債	0
	工作物	5,792,355	5,350,950	△441,405		退職給与引当金	2,743,424
	重要物品	0	0	0		その他	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		2,615,681
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		1,193,882,286
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		1,196,497,967
資産の部 合計		1,218,436,655	1,196,497,967	△21,938,688			

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		建物	勘定科目		土地
決算額の 主な内訳		・浜町集会施設 859,891,361円	決算額の 主な内訳		・浜町集会施設敷地 331,255,656円
	主な 増減理由	・浜町集会施設減価償却による減 △21,497,283円		主な 増減理由	・増減なし
勘定科目		工作物	勘定科目		
決算額の 主な内訳		・浜町集会施設現場打ち側溝 3,034,680円 ・浜町集会施設縁石 1,222,320円 ・浜町集会施設車路フェンス 1,093,950円	決算額の 主な内訳		
	主な 増減理由	・浜町集会施設車路フェンス減価償却による減 △222,105円 ・浜町集会施設現場打ち側溝減価償却による減 △156,332円 ・浜町集会施設縁石減価償却による減 △62,968円		主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。
・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、国・東京都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	地域コミュニティルームの管理運営	中事業2	地域コミュニティルームの改修	中事業3	
地域コミュニティルーム 管理事業 (地域振興課)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・町会・自治会やさまざまな地域団体の活動を活性化するため、一定地域内の各団体が自由に利用できる自主管理型施設として、地域コミュニティルームを整備する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

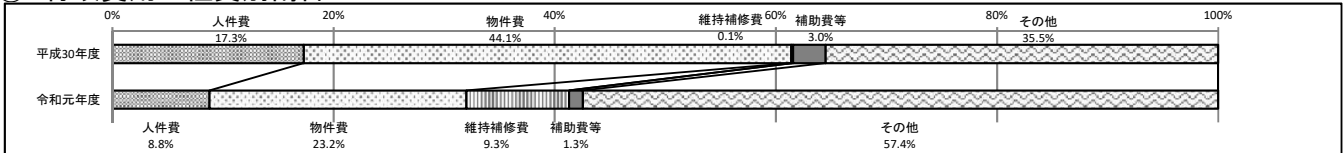
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,969,164	1,944,335	△24,829	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	5,012,131	5,133,002	120,871		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	16,524	2,050,380	2,033,856		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	336,600	279,600	△57,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	8,817,600	8,817,600		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	3,764,071	3,764,071	0		その他	257,858	275,408	17,550
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	257,858	275,408	17,550
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,292	116,426	△154,866		行政収支差額	△11,111,924	△21,830,006	△10,718,082
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		11,369,782	22,105,414	10,735,632		通常収支差額	△11,111,924	△21,830,006	△10,718,082
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△11,111,924	△21,812,244	△10,700,320
特別収入		0	17,762	17,762		一般財源充当調整	7,427,469	18,258,506	10,831,037
特別収支差額		0	17,762	17,762	再計(一般財源調整後)	△3,684,455	△3,553,738	130,717	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・湊職員住宅等複合施設外壁および防水改修(湊コミュニティルーム負担分) 8,817,600円	決算額の主な内訳	・コミュニティルームトイレ清掃等委託 4,258,622円
主な増減理由	・湊職員住宅等複合施設外壁および防水改修による皆増 8,817,600円	主な増減理由	・消費税増等による委託料増 168,426円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・築地あかつきコミュニティルーム冷暖房機取替工事 2,050,380円	決算額の主な内訳	・湊コミュニティルーム管理運営事業助成金 162,000円 ・新川コミュニティルーム共益費 117,600円
主な増減理由	・築地あかつきコミュニティルーム冷暖房機取替工事による皆増 2,050,380円	主な増減理由	・築地あかつきコミュニティルーム管理運営事業助成金皆減による減 △32,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	114,526	116,426	1,900
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	99,548,625	95,784,554	△3,764,071	退職給与引当金	2,057,568	1,845,335	△212,233
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	2,172,094	1,961,761	△210,333
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	97,376,531	93,822,793	△3,553,738
建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	99,548,625	95,784,554	△3,764,071
その他	0	0	0				
資産の部 合計	99,548,625	95,784,554	△3,764,071				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム 95,784,553円 ・京華コミュニティルーム(S4年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム減価償却による減 △3,764,071円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

京橋地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
京橋プラザコミュニティルーム	平成11年7月	463.3
湊コミュニティルーム	平成10年4月	195.95
築地あかつきコミュニティルーム	平成7年4月	101.58
京華コミュニティルーム	平成13年1月	458.37
新川コミュニティルーム	平成7年7月	57.00

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会の自主管理のもと、町会の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティの醸成に寄与することができている。

・複合施設を含む各コミュニティルームの経年劣化が進んでいることから、改修経費を最小限に抑え、地域活動の場を継続的に提供していくために、施設を管理している関係部署と施設状況について情報を共有し、適切に管理していく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の現状を把握し、改修を計画的かつ効果的に行うことにより、今後の改修にかかる経費を必要最小限に抑えたとともに、町会・自治会やさまざまな地域団体の活動の場を長期的に良好な状態の維持に努め、まちの課題解決に取り組む活動を支援していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	日本橋特別出張所の管理運営	中事業2	日本橋特別出張所の改修(設計)	中事業3	
日本橋特別出張所 管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・日本橋特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を図り、公務の円滑かつ適正な運営を確保する。
- ・戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱い、日本橋地域の住民の利便を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

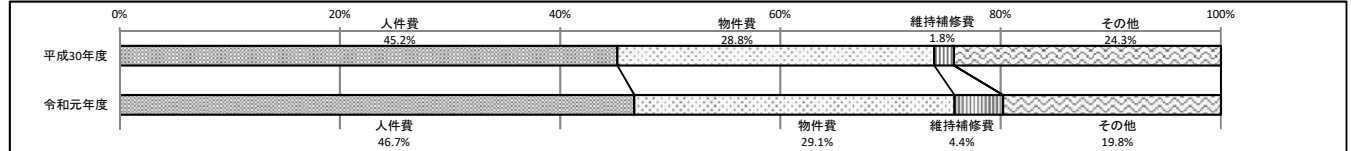
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	51,312,751	50,279,771	△1,032,980	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	32,666,939	31,278,256	△1,388,683		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	2,007,184	4,737,904	2,730,720		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	1,046,700	1,120,200	73,500
	減価償却費	18,161,150	18,161,149	△1		その他	2,020	42,678	40,658
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		1,048,720	1,162,878	114,158
	賞与・退職給与引当金繰入額	9,366,103	3,104,691	△6,261,412	行政収支差額		△112,465,407	△106,398,893	6,066,514
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		113,514,127	107,561,771	△5,952,356	通常収支差額		△112,465,407	△106,398,893	6,066,514
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△112,465,407	△105,925,236	6,540,171
特別収入		0	473,657	473,657	一般財源充当調整		94,175,615	93,372,974	△802,641
特別収支差額		0	473,657	473,657	再計(一般財源調整後)		△18,289,792	△12,552,262	5,737,530

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・建物維持管理業務委託 17,469,686円 ・光熱水費 6,488,048円 ・空調用自動制御装置保守点検 1,200,215円	決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設等建物 17,001,425円 ・日本橋特別出張所モニュメント等工作物 1,159,724円
主な増減理由	・使用実績減による光熱水費減 △779,913円	主な増減理由	・耐用年数経過による減 △1円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・低温熱交換器交換工事 1,299,780円 ・喫煙所撤去工事 948,750円 ・避難口誘導灯・非常灯取替工事 375,660円	決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,120,200円
主な増減理由	・低温熱交換器交換工事、喫煙所撤去工事、誘導灯・非常灯等取替工事等による工事費皆増 3,087,904円	主な増減理由	・納税証明等手数料実績増 73,500円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

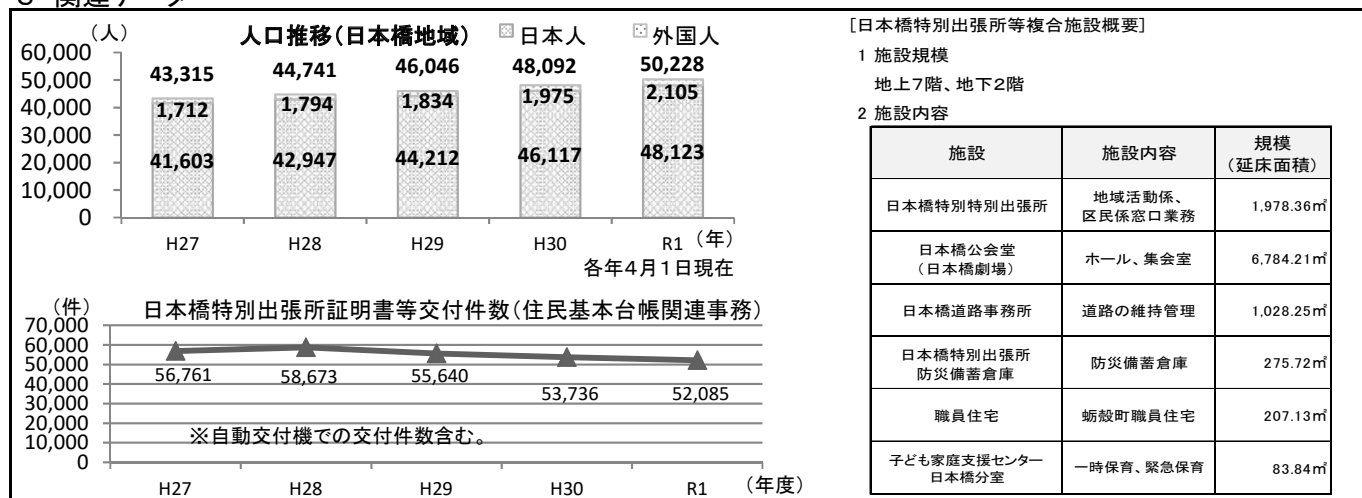
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	3,054,032	3,104,691	50,659
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	66,356,466	66,356,466	0	特別区債	0	0	0
建物	510,042,795	493,041,370	△17,001,425	退職給与引当金	54,868,486	49,208,940	△5,659,546
工作物	9,702,426	8,542,702	△1,159,724	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	57,922,518	52,313,631	△5,608,887
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	528,179,169	543,367,807	15,188,638
建設仮勘定	0	27,740,900	27,740,900				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	586,101,687	595,681,438	9,579,751
資産の部 合計	586,101,687	595,681,438	9,579,751				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所 493,041,370円	決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設敷地 66,356,466円
主な 増減理由	・減価償却による減 △17,001,425円	主な 増減理由	・増減なし

勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所大規模改修工事基本設計業務委託 27,740,900円	決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所スリット型排水溝 4,045,440円 ・日本橋特別出張所モニュメント 2,850,221円
主な 増減理由	・日本橋特別出張所大規模改修工事基本設計業務委託皆増 27,740,900円	主な 増減理由	・減価償却による減 △1,159,724円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・日本橋特別出張所等複合施設は、平成11年開設から20年以上経過している。定期的な保守点検・部品交換を実施しているが、各種装置・構成部品に経年劣化がみられるものが多い。不具合・事故を未然に防止し、安全かつ円滑な運用を図るため、施設全体の大規模改修を予定しているが、日常の使用に際しての不具合が多くその修繕等対応が必要である。

・令和元年度は大規模改修に向けて基本設計を行った。施設に居ながらの工事になるため、利用者の不便にならないよう対応が必要である。

② 今後の方向性

・今後予定される大規模規模改修工事に向けて、施設ごとの工事スケジュール等について、利用者の利便性を損なわないように計画していく。また、大規模改修前の不具合や事故を未然に防ぐため、保守点検の回数を増やすなど、必要な措置を講じていく。

・今後も人口の増加や外国人の増加が想定される中、外国語対応等、窓口対応のサービス水準の確保に向けた取組を適宜進めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	自治振興事務	中事業2	中事業3
自治振興事務 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

- ・日本橋地域におけるコミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。
- ・日本橋地域内の町会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

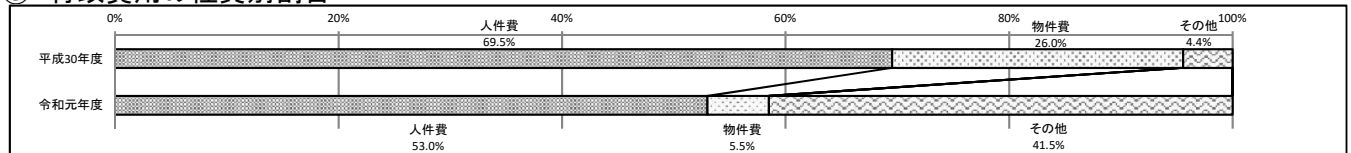
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,799,653	6,552,199	4,752,546	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	673,638	680,128	6,490		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	114,526	5,129,871	5,015,345	行政収支差額		△2,587,817	△12,362,198	△9,774,381
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		2,587,817	12,362,198	9,774,381	通常収支差額		△2,587,817	△12,362,198	△9,774,381
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△612,945	△12,362,198	△11,749,253
特別収入		1,974,872	0	△1,974,872	一般財源充当調整		2,944,270	7,995,089	5,050,819
特別収支差額		1,974,872	0	△1,974,872	再計(一般財源調整後)		2,331,325	△4,367,109	△6,698,434

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・行政懇談会食糧費 484,260円 ・行政懇談会会場使用料 173,188円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・行政懇談会テーブル反訳代実績増 7,560円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	114,526	388,086	273,560
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	2,057,568	6,151,117	4,093,549
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	2,172,094	6,539,203	4,367,109
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△2,172,094	△6,539,203	△4,367,109
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績(日本橋地域)

	H27	H28	H29	H30	R1
団体数(団体)	68	68	68	68	68
出席団体数(団体)	44	43	44	43	45
出席率(%)	64.7	63.2	64.7	63.2	66.2

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・日本橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催しており、毎年6割以上の町会が出席している。
- ・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会との連携の円滑化を図っている。

② 今後の方向性

- ・引き続き行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業の周知を図っていく。また、小規模マンションが多い地域性に鑑み、コミュニティ連絡相談員等を通じて町会と連携しながら、町会の加入促進等に対するきめ細かい支援を行うことで、地域コミュニティの活性化に寄与していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベントの開催を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

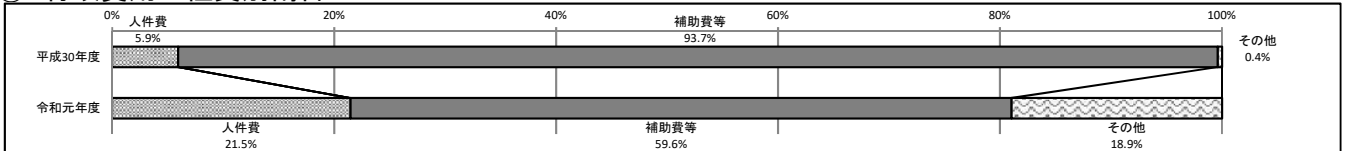
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,239,793	6,590,374	5,350,581	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	0	0	0		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	19,547,000	18,287,000	△1,260,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	76,351	5,815,727	5,739,376		行政収支差額	△20,863,144	△30,693,101	△9,829,957
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		20,863,144	30,693,101	9,829,957		通常収支差額	△20,863,144	△30,693,101	△9,829,957
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△20,257,109	△30,693,101	△10,435,992
特別収入		606,035	0	△606,035		一般財源充当調整	21,060,756	25,601,961	4,541,205
特別収支差額		606,035	0	△606,035		再計(一般財源調整後)	803,647	△5,091,140	△5,894,787

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 12,487,000円 ・地域の盆おどりに対する助成金 5,800,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・地域手づくりイベント実績減による補助金減 △1,260,000円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	76,351	388,086	311,735
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	1,371,712	6,151,117	4,779,405
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	1,448,063	6,539,203	5,091,140
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△1,448,063	△6,539,203	△5,091,140
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数(日本橋)

	H27	H28	H29	H30	R1
対象団体数(団体)	68	68	68	68	68
助成団体数(団体)	51	54	51	55	52
助成割合(%)	75.0	79.4	75.0	80.9	76.5
助成件数(件)	75	79	74	81	77

地域盆おどり大会助成件数(日本橋)

	H27	H28	H29	H30	R1
助成件数(件)	24	24	25	26	26

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、地域の手づくりイベントおよび盆踊りの開催に対し、助成を行っている。地域の手づくりイベントにおいては、毎年7割を超える団体が助成を利用しており、多くの区民が地域で触れ合い、交流するきっかけをつくるとともに、地域への愛着心や連帯感、ふるさと意識の向上を図っている。

・新型コロナウイルス感染症の影響により手づくりイベントが1件中止になり、イベント助成実績件数では平成30年度と比較し4件の減少となった。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、盆踊り等イベントのあり方については、地域と協議をしていく必要がある。

② 今後の方向性

・今後も人口の増加が想定される中、町会が主体となって行うイベントや盆踊りの開催を継続的に支援し、地域独自の伝統的なイベントに加え、新しいイベントの開催も促進することで、新たに住民となった方を含めた多くの区民が交流するきっかけをつくるとともにふるさと意識の高揚を図り、地域の活性化につなげていく。

・今後の盆踊りをはじめ地域のイベントについては、町会と連携して対応していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大 事 業	中 事 業 1	地域コミュニティルームの管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
地域コミュニティルーム 管理事業 (日本橋特別出張所)	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・日本橋地域町会やさまざまな団体が互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、交流・活動の場を提供する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

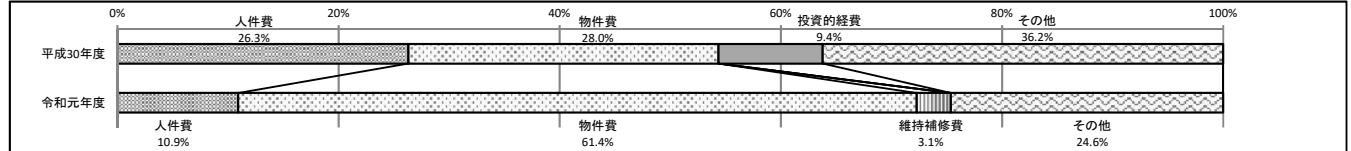
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	7,359,184	1,580,089	△5,779,095	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	7,834,253	8,874,436	1,040,183		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	447,700	447,700		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	2,635,200	0	△2,635,200		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	3,444,398	3,444,398	0		その他	89,460	30,226	△59,234
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		89,460	30,226	△59,234
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,679,106	116,426	△6,562,680	行政収支差額		△27,862,681	△14,432,823	13,429,858
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
	小 計	27,952,141	14,463,049	△13,489,092	通常収支差額		△27,862,681	△14,432,823	13,429,858
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△27,862,681	△8,928,212	18,934,469
特別収入		0	5,504,611	5,504,611	一般財源充当調整		18,705,647	11,486,399	△7,219,248
特別収支差額		0	5,504,611	5,504,611	再計(一般財源調整後)		△9,157,034	2,558,187	11,715,221

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・光熱水費 2,046,026円 ・浜町コミュニティルーム敷地賃借料 1,784,332円 ・地域コミュニティルームの警備委託 1,224,288円 ・消防設備受信機用バッテリー交換 112,530円	決算額の主な内訳	・箱崎町コミュニティルーム(建物) 1,721,069円 ・浜町コミュニティルーム(建物) 908,523円 ・中洲コミュニティルーム(建物) 814,806円
主な増減理由	・コミュニティルーム警備委託消費税増税による委託料増 11,232円 ・消防設備バッテリー交換実績増による需用費増 112,530円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	維持補修費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・浜町コミュニティルーム1F漏水調査復旧工事 447,700円	決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	・浜町コミュニティルーム1F漏水調査復旧工事による工事費皆増 447,700円	主な増減理由	・中洲コミュニティルーム外壁および防水工事完了による皆減 △2,635,200円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	419,929	116,426	△303,503
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	67,065,325	63,620,927	△3,444,398	退職給与引当金	7,544,417	1,845,335	△5,699,082
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	7,964,346	1,961,761	△6,002,585
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	59,100,979	61,659,166	2,558,187
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	67,065,325	63,620,927	△3,444,398
資産の部 合計	67,065,325	63,620,927	△3,444,398				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・箱崎町、中洲、浜町、十思コミュニティルーム 63,620,927円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	・箱崎町、中洲、浜町コミュニティルーム減価償却に よる減 △3,444,398円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

日本橋地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
箱崎町コミュニティルーム	平成6年11月	183.19
浜町コミュニティルーム	平成6年12月	97.2
中洲コミュニティルーム	平成7年10月	126.44
十思コミュニティルーム	平成13年1月	942.18

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会の自主管理のもと、町会の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会活動の促進、地域コミュニティの醸成に寄与することができている。

・日本橋地域コミュニティルーム施設(複合施設)の経年劣化が進む中、継続的な交流・地域活動の場の提供を図るため、施設を管理している関係部署と施設状況の情報を共有し、計画的に施設の改修を行い、今後も改修経費を最小限に抑えるなど適切な維持管理を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の適切な現状把握とともに、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効果的に改修を行うことで、施設の良好な状態の維持、町会等さまざまな団体のコミュニティ活動の場の持続的な提供を行っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	日本橋公会堂の管理運営	中事業2	日本橋公会堂の改修	中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
日本橋公会堂管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民の文化の向上と福祉の増進に寄与するため、ホール(日本橋劇場)と集会室の貸出および維持管理に関する業務を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

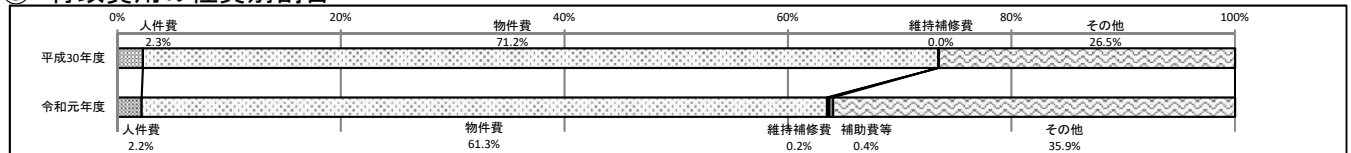
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,159,292	5,694,651	535,359	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	160,534,929	160,432,526	△102,403		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	43,717	478,500	434,783		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	992,000	992,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	34,760,000	34,760,000		使用料及び手数料	70,302,350	66,745,940	△3,556,410
	減価償却費	58,301,443	58,301,443	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	70,302,350	66,745,940	△3,556,410
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,433,993	981,848	△452,145		行政収支差額	△155,171,024	△194,895,028	△39,724,004
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計		225,473,374	261,640,968	36,167,594	通常収支差額		△155,171,024	△194,895,028	△39,724,004
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△155,171,024	△194,895,028	△39,724,004
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		96,331,318	136,500,553	40,169,235
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△58,839,706	△58,394,475	445,231

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・指定管理者委託料 66,339,507円 ・光熱水費 19,583,738円 ・施設維持管理 14,130,621円 ・備品購入費 5,500,000円	決算額の主な内訳	・日本橋公会堂調光卓装置取替工事 34,760,000円
主な増減理由	・指定管理料消費増税等による委託料増 1,490,448円 ・使用実績減による光熱水費減 △2,354,114円 ・施設維持管理費減 △4,026,260円 ・備品購入(スポットライト)による備品購入費皆増 5,500,000円	主な増減理由	・日本橋公会堂調光卓装置取替工事实施による工事費皆増 34,760,000円

勘定科目	補助費等	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・日本橋公会堂使用料還付金 992,000円	決算額の主な内訳	・日本橋公会堂使用料 66,745,940円
主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症等の影響による使用料還付金皆増 992,000円	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症等の影響による使用料還付による減 △2,571,980円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

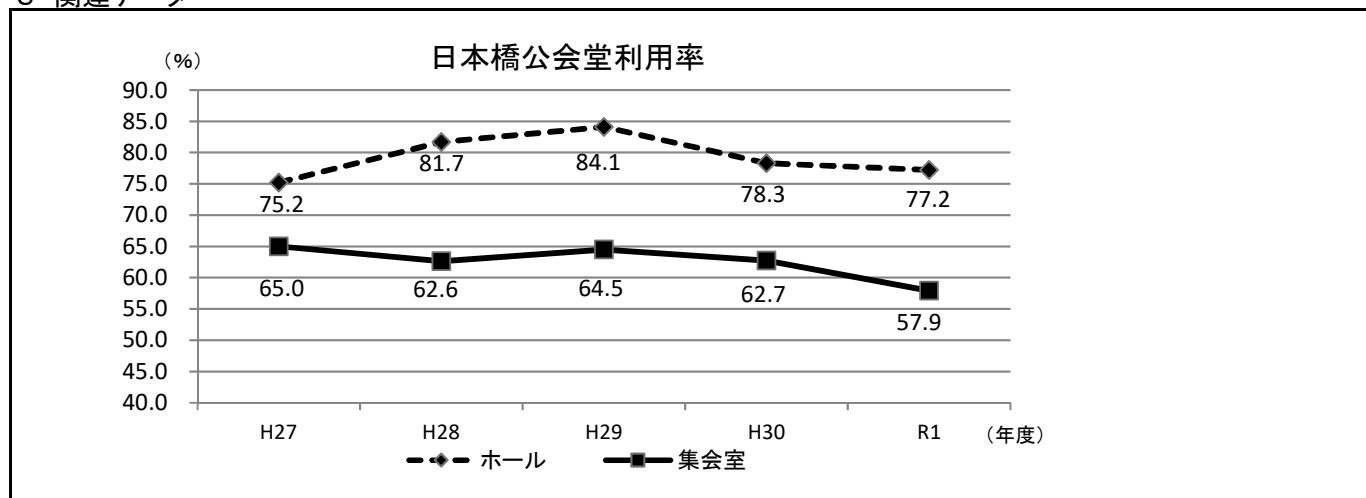
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	305,403	349,278	43,875
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	1,749,043,311	1,690,741,868	△58,301,443	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	5,486,849	5,536,006	49,157
重要物品	17	5,500,017	5,500,000	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	5,792,252	5,885,284	93,032
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,743,251,076	1,690,356,601	△52,894,475
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,749,043,328	1,696,241,885	△52,801,443
資産の部 合計	1,749,043,328	1,696,241,885	△52,801,443				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	重要物品
決算額の 主な内訳	・日本橋公会堂 1,690,741,868円	決算額の 主な内訳	・スポットライト 5,500,000円
主な 増減理由	・減価償却による減 △58,301,443円	主な 増減理由	・スポットライト購入による皆増 5,500,000円
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・近年のホール利用率は、約8割を維持している一方、集会室は6割程度にとどまっている。
 ・日本橋公会堂は、平成11年開設から20年以上経過している。定期的な保守点検・部品交換を実施しているが、舞台装置等を含めた各種装置・構成部品に経年劣化がみられるものが多い。不具合・事故を未然に防止し、安全かつ円滑な運用を図るため、施設の改修が必要である。
 ・令和2年3月は新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセルで利用率が低下したが、令和2年2月までの平均稼働率は平成30年度と同程度だった。

② 今後の方向性

・広報活動等を通じて集会室の利用率向上に努める。
 ・日本橋特別出張所等複合施設の大規模改修に併せて、日本橋公会堂の改修を計画するとともに、改修完了前の設備の不具合や事故を未然に防ぐため、保守点検回数を増やすなど、適切な維持管理を図っていく。
 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、国・東京都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	月島特別出張所の管理運営	中事業2		中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
月島特別出張所管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・月島地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。 ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

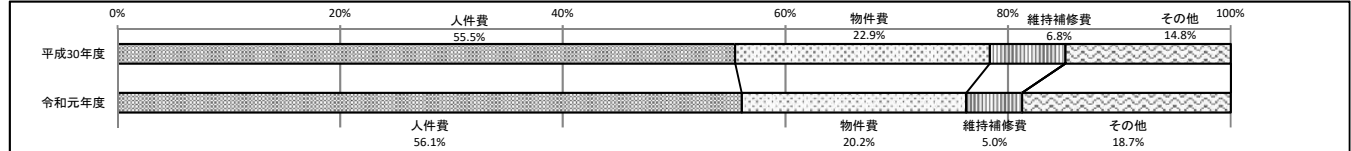
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	46,215,277	54,351,715	8,136,438	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	19,067,335	19,529,794	462,459		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	5,645,441	4,865,280	△780,161		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	1,646,700	1,739,100	92,400
	減価償却費	5,674,766	5,674,766	0		その他	3,350	4,721	1,371
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		1,650,050	1,743,821	93,771
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,691,881	12,496,122	5,804,241	行政収支差額		△81,644,650	△95,173,856	△13,529,206
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		83,294,700	96,917,677	13,622,977	通常収支差額		△81,644,650	△95,173,856	△13,529,206
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△81,644,650	△95,173,856	△13,529,206
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		77,933,720	85,532,426	7,598,706
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△3,710,930	△9,641,430	△5,930,500

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・維持管理等業務委託 13,926,083円 ・光熱水費 2,697,449円	決算額の主な内訳	・月島特別出張所等建物 3,721,339円 ・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備等工作物 1,953,427円
主な増減理由	・小破修理実績増による需用費増 417,485円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・月島特別出張所喫煙所撤去工事 2,266,000円 ・吸収冷温水機に係る部品交換工事 1,555,740円 ・雑排水再利用補給水FMバルブ等補修工事 385,560円	決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,739,100円
主な増減理由	・月島特別出張所外床タイル補修工事完了による工事費皆減 △4,529,018円 ・月島特別出張所喫煙所撤去工事経費皆増 2,266,000円	主な増減理由	・納税証明等発行件数増による手数料増 92,400円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

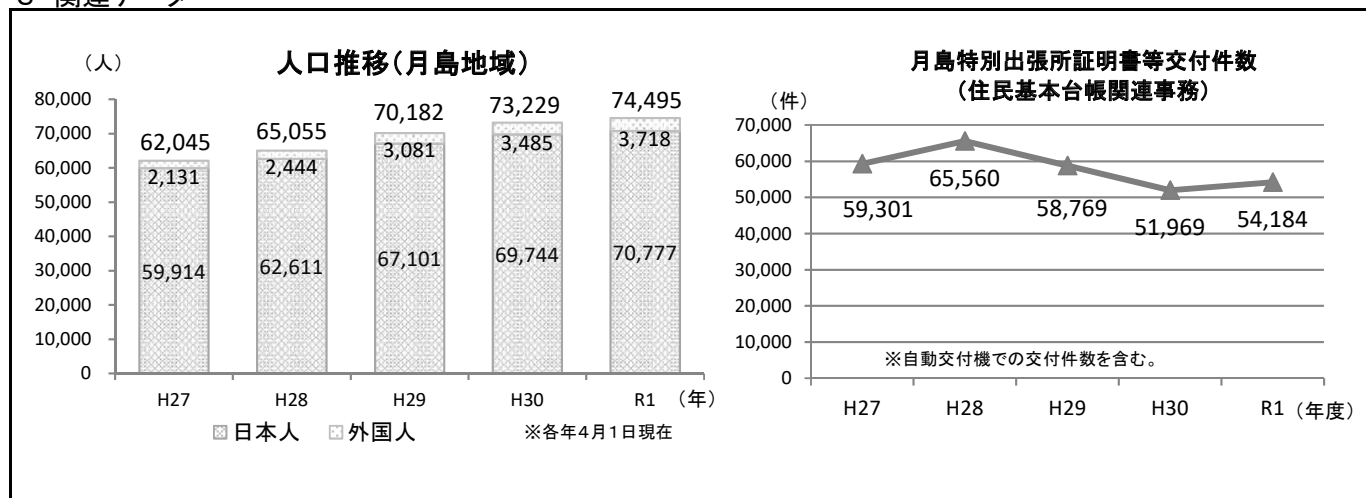
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	2,824,980	3,415,160	590,180
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	937,650	937,650	0	特別区債	0	0	0
建物	70,868,515	67,147,176	△3,721,339	退職給与引当金	50,753,350	54,129,834	3,376,484
工作物	19,668,171	17,714,744	△1,953,427	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	53,578,330	57,544,994	3,966,664
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	37,896,006	28,254,576	△9,641,430
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	91,474,336	85,799,570	△5,674,766
資産の部 合計	91,474,336	85,799,570	△5,674,766				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	・月島特別出張所 66,095,488円 ・月島特別出張所等複合施設自転車置き場(3カ所) 1,051,688円	決算額の 主な内訳	・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備 11,567,885円 ・月島特別出張所時計塔設備 4,340,952円 ・月島特別出張所懸垂幕ポール 907,207円
主な 増減理由	・月島特別出張所等減価償却による減 △3,721,339円	主な 増減理由	・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備等減価償却による減 △1,953,427円
勘定科目	土地	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・月島特別出張所等敷地 937,650円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・月島特別出張所は、昭和63年の竣工から30年以上が経過し、建物および設備の老朽化が進んでいることから、維持補修工事・小破修理が多く発生している。

・月島地域の人口の推移は引き続き増加傾向にある。窓口利用件数については、年度ごとの変動はあるが、今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の住宅等の整備にあたり、さらなる人口の増加とそれに伴う窓口利用件数の増加が見込まれることから新たな出張所をはじめ、窓口対応のあり方も視野に入れた体制の整備を進めていく必要がある。

② 今後の方向性

・各設備の保守部品等の耐用年数を考慮し、経費の抑制および平準化を図りながら計画的な維持補修を行っていく。

・月島地域の人口増加に対応するため、特に人口の増加が著しい晴海地区において特別出張所の整備を進めているところであり、引き続き開設に向け、人員の育成を含め準備を着実に進めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	自治振興事務	中事業2	中事業3
	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
自治振興事務 (月島特別出張所)	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・コミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。
・区内町会長および自治会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

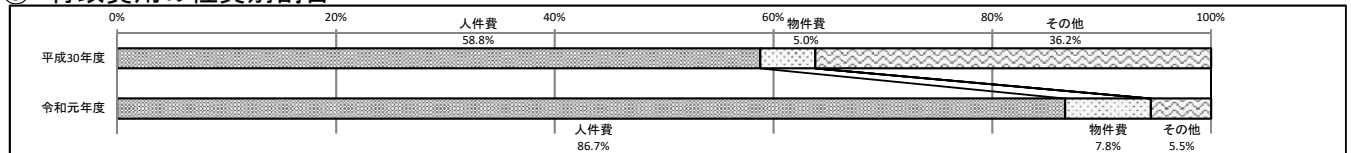
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	4,491,787	4,280,919	△210,868	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	382,428	387,245	4,817		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計		0	0	0
	賞与・退職給付引当金繰入額	2,764,654	271,660	△2,492,994	行政収支差額		△7,638,869	△4,939,824	2,699,045
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小計		7,638,869	4,939,824	△2,699,045	通常収支差額		△7,638,869	△4,939,824	2,699,045
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△7,638,869	△4,898,378	2,740,491
特別収入		0	41,446	41,446	一般財源充当調整		5,572,927	5,389,157	△183,770
特別収支差額		0	41,446	41,446	再計(一般財源調整後)		△2,065,942	490,779	2,556,721

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・行政懇談会食糧費 372,125円 ・音声ファイル反訳 15,120円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・行政懇談会食糧費実績増による需用費増 4,817円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	267,228	271,660	4,432
固定資産	土地	0	0	0		その他	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	4,800,993	4,305,782	△495,211
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		5,068,221	4,577,442	△490,779
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△5,068,221	△4,577,442	490,779
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		0	0	0
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績(月島地域)

	H27	H28	H29	H30	R1
団 体 数 (団 体)	44	44	45	45	45
出席団体数(団体)	36	34	37	35	36
出 席 率 (%)	81.8	77.3	82.2	77.8	80.0

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・月島地域の町会・自治会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催しており、毎年8割程度の町会・自治会が出席している。
- ・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会・自治会との連携の円滑化を図っている。

② 今後の方向性

- ・引き続き行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会・自治会活動の活性化に資する事業の周知を図っていく。また、月島地域において、今後も大幅な人口増加が想定される中、既存町会・自治会に加え新築マンション等における新たな自治会とも円滑な連携を図りながら、地域コミュニティの活性化に寄与していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベントの開催を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

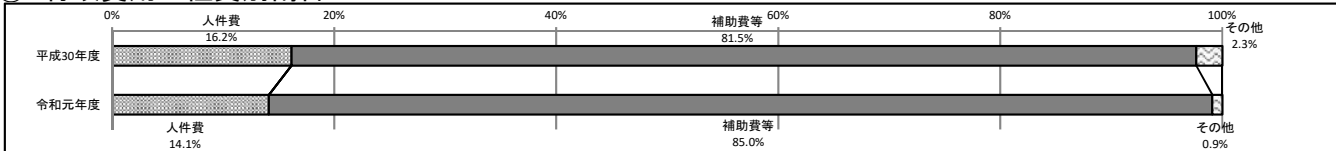
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,498,123	2,446,238	△51,885	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	0	0	0		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	12,589,000	14,743,000	2,154,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	361,723	155,235	△206,488		行政収支差額	△15,448,846	△17,344,473	△1,895,627
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		15,448,846	17,344,473	1,895,627		通常収支差額	△15,448,846	△17,344,473	△1,895,627
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△15,448,846	△17,320,790	△1,871,944
特別収入		0	23,683	23,683		一般財源充当調整	15,554,999	17,601,234	2,046,235
特別収支差額		0	23,683	23,683		再計(一般財源調整後)	106,153	280,444	174,291

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 9,493,000円 ・地域盆おどり大会助成金 5,250,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・地域手づくりイベント実績減による助成金減 △1,946,000円 ・地域盆おどり大会実績増による助成金増 4,100,000円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	152,702	155,235	2,533
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	2,743,424	2,460,447	△282,977
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	2,896,126	2,615,682	△280,444
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△2,896,126	△2,615,682	280,444
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数(月島)

	H27	H28	H29	H30	R1
対象団体数(団体)	44	45	46	45	46
助成団体数(団体)	34	30	33	35	32
助成割合(%)	77.3	66.7	71.7	77.8	69.6
助成件数(件)	46	42	46	49	43

地域盆おどり大会助成件数(月島)

	H27	H28	H29	H30	R1
助成件数(件)	6	22	22	4	23

※H27、H30は「住吉神社大祭(3年に1回開催)」開催年度のため実績減

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会が主体となつて行う独自イベントの開催を促進するため、地域の手づくりイベントおよび盆踊りの開催に対し、助成を行っている。地域の手づくりイベントにおいては、毎年7割程度の団体が助成を利用しており、多くの区民が地域で触れ合い、交流するきっかけをつくるとともに、地域への愛着心や連帯感、ふるさと意識の向上を図っている。

・地域手づくりイベントの助成件数は、平成30年度と比較して減となっているが、年間複数回行っていたものが統合して実施されるなど、より内容の濃いイベント実施に向け取り組んでいる町会・自治会もあるほか、令和元年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4件のイベントが中止となった。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、今後の盆踊り等イベントのあり方については、地域と協議していく必要がある。

② 今後の方向性

・今後も人口の増加が想定される中、地域独自のイベントや盆踊りの開催を継続的に支援し、地域ごとの伝統的なイベントに加え、新しいイベントの開催も促進することで、新たに住民となった方を含めた多くの区民が交流するきっかけをつくるとともにふるさと意識の高揚を図り、地域の活性化につなげていく。

・引き続き町会・自治会等と連携しながら、地域のイベントを支援していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域コミュニティルームの管理運営	中事業2		中事業3	
地域コミュニティルーム 管理事業 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・町会・自治会活動の円滑化を促進し、地域コミュニティの活性化を図るため、一定地域内(連合町会単位)の複数の町会・自治会等が共同で自由に利用できる自主管理型施設である地域コミュニティルームの管理運営を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

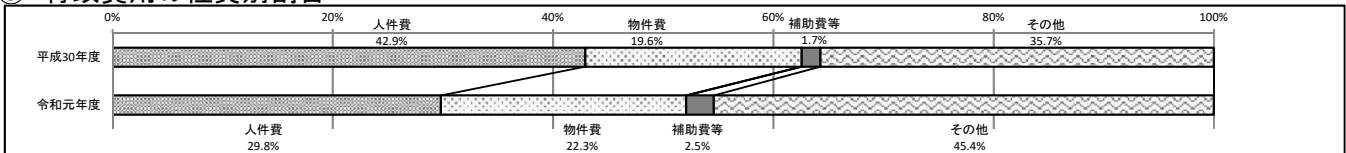
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,500,707	2,905,096	△2,595,611	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	2,516,004	2,170,958	△345,046		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	219,000	244,000	25,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	4,232,609	4,232,609	0		その他	141,551	130,980	△10,571
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		141,551	130,980	△10,571
	賞与・退職給与引当金繰入額	343,579	194,043	△149,536	行政収支差額		△12,670,348	△9,615,726	3,054,622
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
	小 計	12,811,899	9,746,706	△3,065,193	通常収支差額		△12,670,348	△9,615,726	3,054,622
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△11,009,009	△6,842,698	4,166,311
特別収入		1,661,339	2,773,028	1,111,689	一般財源充当調整		9,266,954	5,856,771	△3,410,183
特別収支差額		1,661,339	2,773,028	1,111,689	再計(一般財源調整後)		△1,742,055	△985,927	756,128

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・施設維持管理委託 2,059,546円	決算額の主な内訳	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営事業助成金 244,000円
主な増減理由	・天井埋込型エアコン等分解洗浄委託実績減による委託料減 △190,080円	主な増減理由	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営事業助成金実績増 25,000円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム光熱水費使用料 130,980円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・使用量実績減による光熱水費使用料減 △10,571円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目				勘定科目			
		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A			差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	343,579
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0
	建物	93,425,477	89,192,868	△4,232,609		特別区債	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	6,172,705
	重要物品	0	0	0		その他	0
	インフラ資産	0	0	0		負債の部合計	6,516,284
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	86,909,193
	その他	0	0	0		負債・正味財産の部合計	93,425,477
資産の部 合計		93,425,477	89,192,868	△4,232,609			

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・勝どきコミュニティルーム 79,355,574円 ・月島清澄通りコミュニティルーム 9,837,294円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	・勝どきおよび月島清澄通りコミュニティルーム減価償却 による減 △4,232,609円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

月島地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
勝どきコミュニティルーム	平成7年12月	366.7
月島清澄通りコミュニティルーム	平成6年12月	145.26

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会の自主管理のもと、町会の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティの醸成に寄与することができている。

・各コミュニティルーム施設(複合施設)の経年劣化が進む中、施設を管理している関係部署と施設状況の情報を共有し、適切な維持管理を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の適切な現状把握とともに、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効果的に改修を行うことで、施設の良好な状態の維持、町会等さまざまな団体のコミュニティ活動の場の持続的な提供を行っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域文化活動の推進	中事業2		中事業3	
地域文化活動の推進事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・まるごとミュージアムは、区内を無料のバスや船で回遊しながら、民間事業者等が行う文化イベントに参加し、本区の文化的な魅力(名所・旧跡、画廊・美術館、水辺等)を楽しみ享受できる一日となるよう実施している。

・まちかど展示館は、地域住民自らが文化資源を展示・公開する施設等の運営を支援している。また、まちかど展示館運営協議会を中心に、観光・文化資源として活用していくための取組を推進している。

・東京国際合唱コンクールは、区民が世界基準の合唱文化に触れ、国際交流を深めることで、本区の文化振興および生涯学習意欲の向上をより一層推進するため実施している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

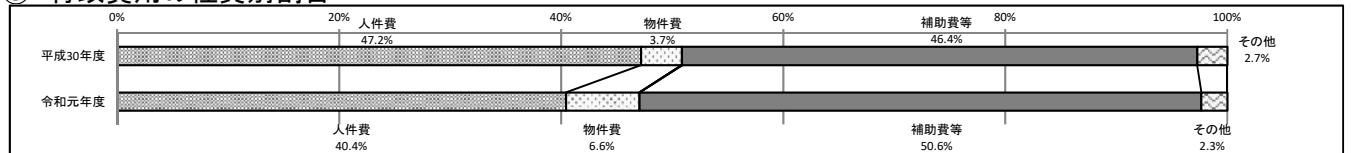
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	16,655,530	15,457,782	△1,197,748	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	1,299,300	2,535,084	1,235,784		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	16,374,380	19,347,437	2,973,057		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	2,000,000	0	△2,000,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		2,000,000	0	△2,000,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	954,385	892,599	△61,786	行政収支差額		△33,283,595	△38,232,902	△4,949,307
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		35,283,595	38,232,902	2,949,307	通常収支差額		△33,283,595	△38,232,902	△4,949,307
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△23,931,791	△36,725,013	△12,793,222
特別収入		9,351,804	1,507,889	△7,843,915	一般財源充当調整		35,853,797	39,785,631	3,931,834
特別収支差額		9,351,804	1,507,889	△7,843,915	再計(一般財源調整後)		11,922,006	3,060,618	△8,861,388

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・まちかど展示館運営協議会補助金 8,136,937円 ・まちかど展示館に係る改装整備費等助成金 5,437,000円 ・東京国際合唱コンクール負担金 4,000,000円	決算額の主な内訳	・東京国際合唱コンクールに係る記念品購入等 774,445円 ・まちかどコンサート会場等使用料 770,606円 ・まちかど展示館プレート購入 490,500円
主な増減理由	・まちかど展示館ホームページ改修経費減による運営協議会補助金減 △639,243円 ・まちかど展示館開設による改装整備費助成金皆増 3,618,000円	主な増減理由	・まちかどコンサート会場等使用料増 681,506円 ・まちかど展示館開設によるプレート購入費皆増 490,500円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

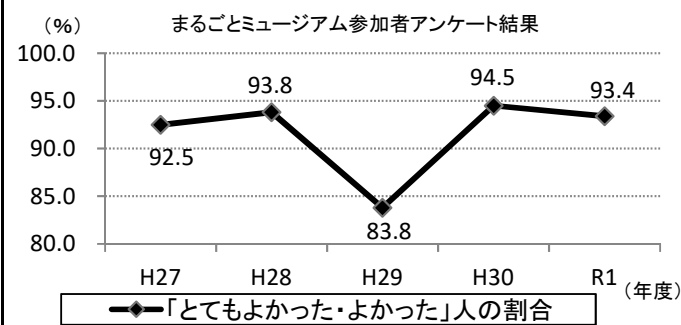
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	954,385	892,599	△61,786
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	17,146,402	14,147,570	△2,998,832
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	18,100,787	15,040,169	△3,060,618
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△18,100,787	△15,040,169	3,060,618
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

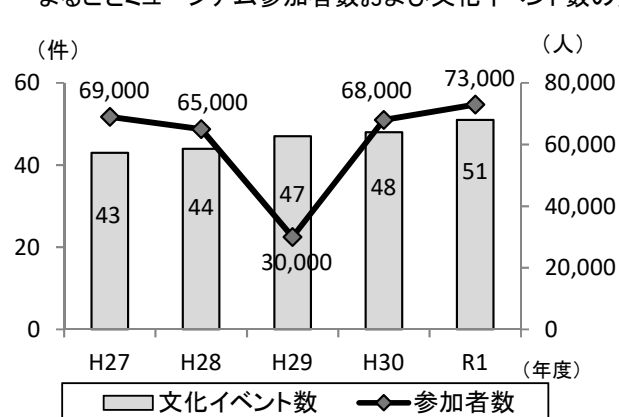
勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
—	—
勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
—	—

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
まちかど展示館認定件数・助成件数(件・件)	26・19	30・20
東京国際合唱コンクール延入場者数(人)	2,516	2,298
(チケット購入者数)		



まるとミュージアム参加者数および文化イベント数の推移



※H29年度は、当日台風による荒天のため参加者数減

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・まるとミュージアムの参加者数は増加し、参加者からは高い評価を得ており、区民が文化に触れる機会を提供することができている。令和元年度は、新たに築地社会教育会館においてまちかど展示館の集合イベントを行った。今後も、さらに多くの参加者が本区の豊かな文化に触れ、楽しむことができるよう、新規イベントの検討や継続的に事業内容の充実を図っていく必要がある。
- ・「まちかど展示館」事業は、区民に対してスタンプラリー等を通じて地域の文化資源に触れる機会をつくり、地域への誇りや愛着心を育むことができている。しかし、区民や観光客等への認知度が十分でないため、まちかど展示館運営協議会を中心に各施設の周知方法を検討し、季刊誌やウェブサイトを活用した情報発信をしていくとともに、回遊性をさらに高める取組を進めていく必要がある。
- ・東京国際合唱コンクールに参加する海外合唱団が区内の商業施設において、無料で合唱を披露するまちかどコンサートを開催し、コンクールのPRを行うとともに、区民にハイレベルな合唱を楽しんでもらうため、コンクール会場への区民招待を行った。また、本事業は、観覧者から高い評価を得ており、今後は本区の恒例のイベントとして定着させるため、より多くの区民が合唱に触れる機会を増やす必要がある。

② 今後の方向性

- ・まるとミュージアムは、より多くの参加者が本区の文化的な魅力に親しめるよう、内容の充実を図り、参加者自身が当日の回遊プランを作成しやすくなるようパンフレット等を工夫し、参加意欲を促進するとともに参加者の満足度向上につなげていく。
- ・「まちかど展示館」事業については、「まちかど展示館運営協議会」での意見を踏まえ、まるとミュージアムへの出展を促すとともに、通年で実施しているスタンプラリーや子ども向けのスタンプラリー、施設見学会等を引き続き実施するとともに、今後さらに増加が見込まれる外国人観光客に向けて日本語動画に外国語表記をつけるなど情報発信を強化し、区の魅力ある伝統文化を世界に発信していく。
- ・東京国際合唱コンクールは、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止が決定しているものの、今後も、コンクールはもとより、関連事業であるまちかどコンサートの拡充を図るとともに、コンクールの区民招待者を増やすことで、より多くの区民に気軽にハイレベルな合唱を楽しめる機会を提供し、地域に愛されるイベントとして定着させていく。また、令和3年度は延期となった東京2020大会が開催されることから、開催時期を例年の7月から東京2020大会終了直後の9月に変更し、国際交流の機運を高めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	郷土天文館「タイムドーム明石」の管理運営	中事業2		中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
郷土天文館管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・中央区の文化財や区内の遺跡から出土した遺物等を紹介する常設展示等を管理運営し、広く区民等に周知を図る。
- ・新たに登録・指定した区民文化財を紹介する企画展等やテーマに沿った特別展を開催し、区の魅力あふれる歴史や文化を伝える。
- ・プラネタリウムの学習投影を通じて、児童の理科や科学への興味を深める。さらに、生涯学習施設として区民等が知的探究心を満足させることができる空間として、また、エンターテインメント番組等の一般投影を行うことで、リラクゼーション空間としても活用を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

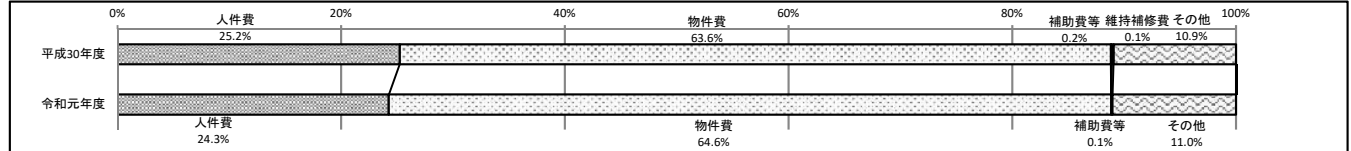
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	37,619,547	33,934,938	△3,684,609	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	94,759,493	90,337,518	△4,421,975		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	103,572	0	△103,572		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	391,038	141,206	△249,832
	補助費等	259,000	158,000	△101,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	4,379,170	3,245,660	△1,133,510
	減価償却費	14,778,336	14,778,336	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	4,770,208	3,386,866	△1,383,342
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,537,323	659,747	△877,576		行政収支差額	△144,287,063	△136,481,673	7,805,390
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計		149,057,271	139,868,539	△9,188,732	通常収支差額		△144,287,063	△136,481,673	7,805,390
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△144,287,063	△136,381,021	7,906,042
特別収入		0	100,652	100,652	一般財源充当調整		129,959,879	122,794,573	△7,165,306
特別収支差額		0	100,652	100,652	再計(一般財源調整後)		△14,327,184	△13,586,448	740,736

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	・受付業務およびプラネタリウム投影委託 24,753,900円 ・所蔵品保管委託 10,019,619円 ・収蔵品データベース運用等 6,440,500円	決算額の主な内訳	・郷土天文館非常勤職員報酬 21,902,540円
主な増減理由	・出土遺物及び資機材梱包等業務委託料皆減 △1,922,440円 ・プラネタリウム番組延長による投影料減 △1,566,000円 ・収蔵品DB運用のSSL作業等実績減による委託料減 △3,086,288円	主な増減理由	・文化財調査指導員1名欠員による報酬減 △3,622,859円

勘定科目	補助費等	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・特別展講演会、歴史講座講師謝礼 105,000円 ・郷土天文館サポーター等活動費 53,000円	決算額の主な内訳	・郷土天文館使用料 3,245,660円
主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため歴史講座中止による講師謝礼減 △70,000円 ・郷土天文館サポーター等活動実績減 △31,000円	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策(休止等)に伴う入館者数減による使用料減 △1,113,510円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

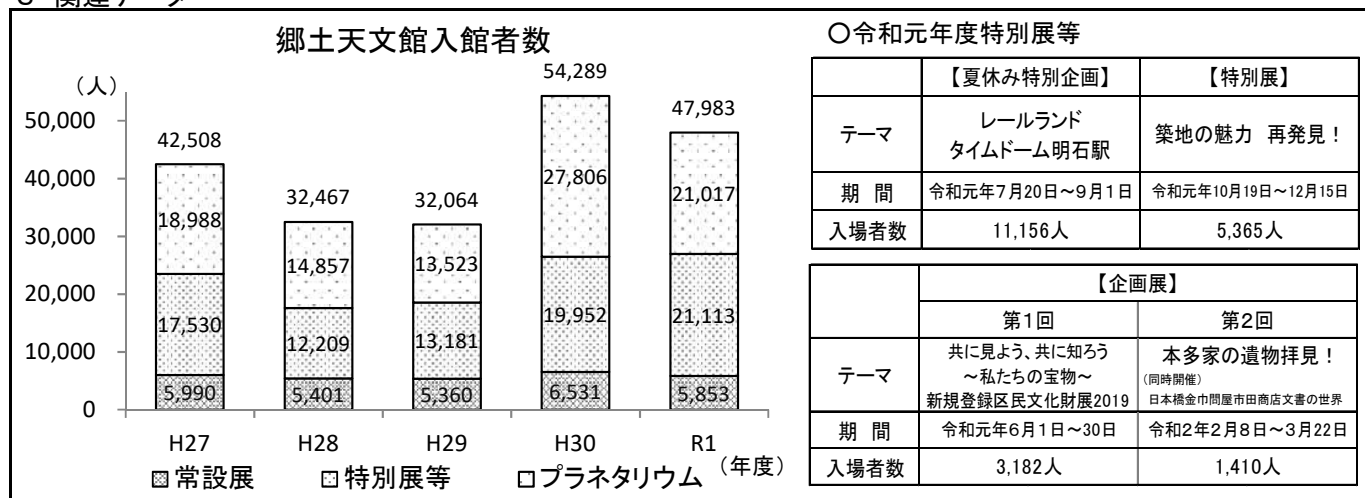
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	648,982	659,747	10,765
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	246,660,516	232,122,190	△14,538,326	退職給与引当金	11,659,553	10,456,900	△1,202,653
工作物	2,858,860	2,618,850	△240,010	その他	0	0	0
重要物品	32,200,003	32,200,003	0	負債の部合計	12,308,535	11,116,647	△1,191,888
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	269,410,844	255,824,396	△13,586,448
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	281,719,379	266,941,043	△14,778,336
資産の部 合計	281,719,379	266,941,043	△14,778,336				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	・郷土天文館 232,122,190円	決算額の主な内訳	・船員教育発祥の地記念碑ほか3件 2,618,850円
主な増減理由	・中央区保健所等複合施設減価償却による減 △14,538,326円	主な増減理由	・船員教育発祥の地記念碑ほか3件減価償却による減 △240,010円
勘定科目	重要物品	勘定科目	
決算額の主な内訳	・江戸時代中央区模型ほか11件 32,200,003円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・収蔵資料を中心に展示している常設展示に加え、テーマ別の企画展を2回開催するとともに、他館からの借用資料も含めて構成した特別展を開催した。今後も、本区に存在する豊富な文化遺産を有効に活用し、文化や歴史の魅力を多くの人に発信していく必要がある。

・プラネタリウムにおいては、親子でプラネタリウム、リフレッシュプラネタリウムやヒーリングプラネタリウム等来館者のニーズに合わせた番組、人気の高いエンターテインメント番組の上映とともに、SNS等を活用した積極的な周知を行った。しかしながら、令和2年2月末から新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として番組を休止したため、平成30年度と比べ入館者数は減少した。

・令和4年10月開設予定の「本の森ちゅうおう(仮称)」では、郷土資料館と図書館との併設というメリットをいかし、相互に連携しながら、区の歴史・文化への関心を高める効果的な展示・紹介を行っていく必要がある。

② 今後の方向性

・時流をとらえたテーマによる企画展の開催、常設展の展示内容の充実等、魅力ある展示を行うことで、区民等が直接文化財にふれる機会の充実を図るとともに、収蔵品アーカイブスにより、時間や場所を問わずより多くの文化財にふれる機会を提供することで、文化財の有効活用および文化財に対する理解の促進を図っていく。また、新たに「中央区歴史・文化ガイドブック」を発行し、併せて英語版も作成するなど、より多くの人に分かりやすい情報発信を行っていく。

・引き続き、多くの人々が楽しめるプラネタリウム番組の放映やイベントの実施に努めるとともに、子どもたちの理科や科学、天体への興味を高めていくため、小学校3・4年生向けの学習投影の工夫や、幼稚園、保育園のさらなる利用促進を図っていく。

・「本の森ちゅうおう(仮称)」において、江戸以来の豊富な歴史・文化資料である郷土資料と地域資料を融合した展示や関連書籍の配架を行うなど、効果的な情報発信、さらには文化財の有効活用に向けていく。また、館内に整備する郷土資料館(仮称)では、更新性の高い展示手法等、来館する多くの方々が本区の歴史・文化に触れ、興味を喚起されるような展示の検討を進めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	文化財の保護	中事業2		中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
文化財保護事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・中央区の文化財を登録・指定し、地域の歴史や文化に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次世代への継承を図る。

・文化財説明板の設置や中央区の歴史・文化に関連するテーマを設定して、区民等を対象とした文化財めぐりを春と秋に実施することで、区内の文化遺産に対する愛着や理解を深め、その保護・普及を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

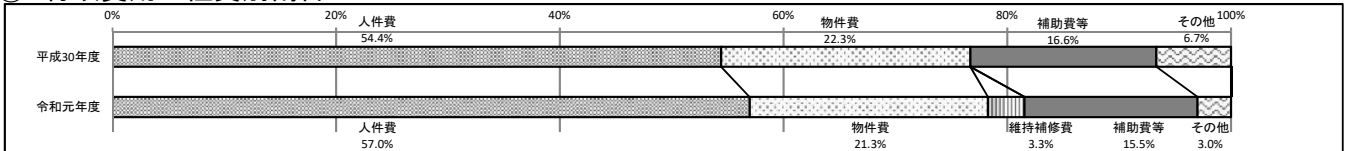
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	13,267,566	13,265,185	△2,381	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	5,427,284	4,960,786	△466,498		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	760,100	760,100		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	4,055,800	3,601,200	△454,600		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	434,430	172,220	△262,210
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計		434,430	172,220	△262,210
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,627,755	698,555	△929,200	行政収支差額		△23,943,975	△23,113,606	830,369
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小計		24,378,405	23,285,826	△1,092,579	通常収支差額		△23,943,975	△23,113,606	830,369
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△23,943,975	△23,007,034	936,941
特別収入		0	106,572	106,572	一般財源充当調整		24,421,665	24,269,033	△152,632
特別収支差額		0	106,572	106,572	再計(一般財源調整後)		477,690	1,261,999	784,309

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・マイクロフィルム撮影委託 1,355,200円 ・文化財めぐりマップ印刷 951,500円 ・出土遺物保管用台車購入 681,327円	決算額の主な内訳	・収蔵品調査整理、講師謝礼等報償費 2,201,200円 ・中央区民文化財保護奨励金 1,400,000円
主な増減理由	・文化財めぐりマップ印刷皆増 951,500円 ・文化財説明板設置科目変更による備品購入費減 △760,100円 ・出土遺物保管用台車購入数減による購入費減 △406,318円	主な増減理由	・収蔵品調査整理報償費実績減 △454,600円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・文化財説明板設置工事 760,100円	決算額の主な内訳	・有償刊行物販売 172,220円
主な増減理由	・文化財説明板設置科目変更による工事費皆増 760,100円	主な増減理由	・有償刊行物販売減による収入減 △262,210円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

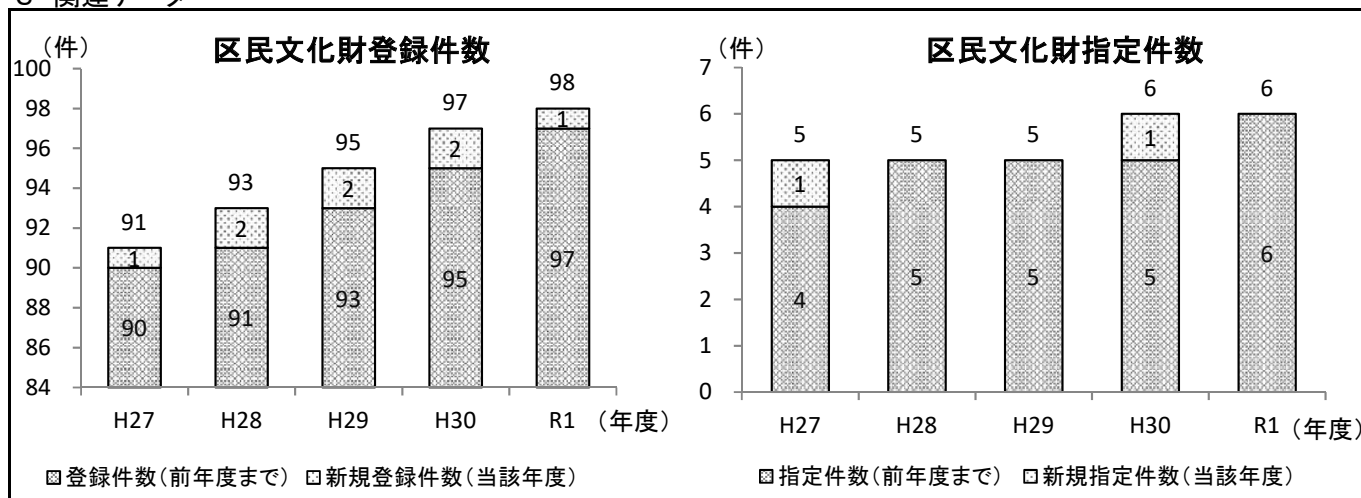
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	687,157	698,555	11,398
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	12,345,409	11,072,012	△1,273,397
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	13,032,566	11,770,567	△1,261,999
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△13,032,566	△11,770,567	1,261,999
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
—	—

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
—	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・中央区民文化財として、新たに1件の登録を行うとともに、広報紙や区ホームページ等で広く周知し、地域の文化や歴史に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承に取り組んだ。(指定文化財6件、登録文化財98件)

・文化財説明板の新規設置(1カ所)および更新(3カ所)の際に、文化財の歴史的背景をより理解しやすくする工夫として、文字による解説のほか、図版や英語表記を追加したことで、区民のみならず外国人観光客の文化財に対する理解を深めることができた。

・文化財保護意識のさらなる普及・啓発を図るため、文化財の適切な管理と積極的な紹介をしていく必要がある。特に歴史的建造物は、老朽化に伴う維持管理費用の負担増等の理由により、その価値を棄損する恐れがある。

② 今後の方向性

・有形・無形の文化遺産について文化財調査指導員による調査を進め、重要なものについては、所有者へ区民文化財の登録・指定に向けた働きかけを行うとともに、登録・指定後は適切な管理を促していく。また、登録・指定した文化遺産については、広報紙や常設展示、区ホームページ等で幅広く公開するなど保護意識の普及を図っていく。さらに、新たに発行する「中央区歴史・文化ガイドブック」を区内各所で配布することにより、区民文化財等を巡るまち歩きを促進する。

・歴史的に価値がある建築物をまとめた「近代建築物100選」の映像資料の活用や主要な近代建築物を巡るまち歩きの実施等により、本区の文化や歴史の魅力を積極的に発信していくとともに、文化財の活用を通じて観光振興等にも寄与できる施策に取り組んでいく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	都市間交流の推進	中事業2		中事業3	
地域間交流の推進事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・異なる歴史や風土を持つ都市の個性を尊重し、学び合いながら、それぞれの都市の発展につなげるため各都市と交流している。特に、友好都市である山形県東根市とは、本区の児童が風土や文化を異にする都市との交流により互いの理解・友情を深め、豊かな心を育むための一助となるよう「中央区・東根市児童交歓会」を実施している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

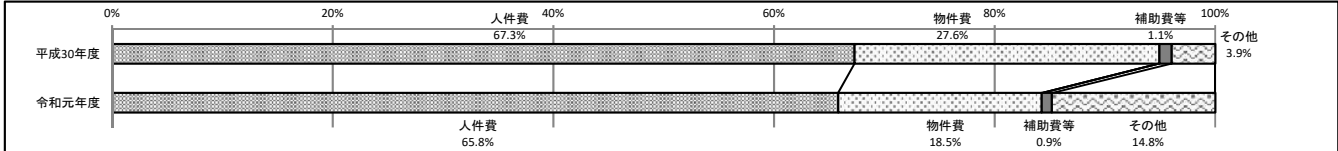
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	6,523,857	7,853,692	1,329,835	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	2,677,207	2,202,357	△474,850		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	110,000	110,000	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	210,000	380,000	170,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		210,000	380,000	170,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	381,754	1,766,367	1,384,613	行政収支差額		△9,482,818	△11,552,416	△2,069,598
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		9,692,818	11,932,416	2,239,598	通常収支差額		△9,482,818	△11,552,416	△2,069,598
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△9,294,826	△11,552,416	△2,257,590
特別収入		187,992	0	△187,992	一般財源充当調整		10,310,779	10,945,686	634,907
特別収支差額		187,992	0	△187,992	再計(一般財源調整後)		1,015,953	△606,730	△1,622,683

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・「児童交歓会」参加者交通費・保険料・宿泊料等 978,042円 ・交流都市への訪問等旅費 345,298円 ・さくらんぼマラソン大会Tシャツ・賞品 302,940円	決算額の主な内訳	・本栖湖神湖祭花火大会後援協賛金 100,000円
主な増減理由	・児童交歓会東根市訪問によるパス借上げ料等減 △449,585円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・児童交歓会参加者負担金 380,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・児童交歓会東根市訪問による参加者負担金増 170,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	381,754	465,704	83,950
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	6,858,561	7,381,341	522,780
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	7,240,315	7,847,045	606,730
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△7,240,315	△7,847,045	△606,730
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

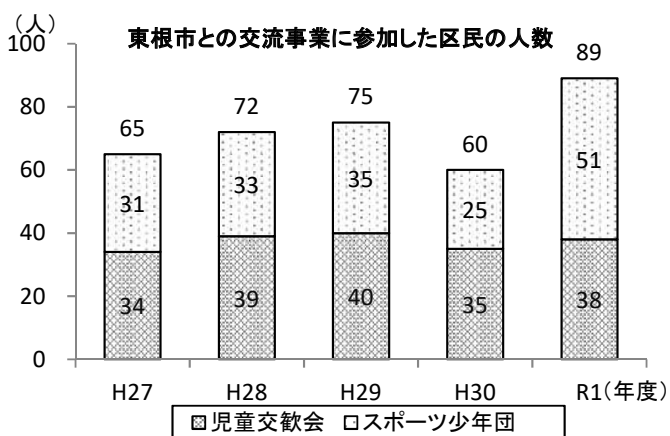
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
さくらんぼ種飛ばし大会参加者数(人)	550	0(※1)
さくらんぼマラソン大会参加者数(人) (中央区オリジナルTシャツ申込者数※2)	12,594 (35)	12,564(45)
児童交歓会参加者数(人・組)	35(19)	38(19)
” 応募者数(人・組)	56(27)	44(22)
スポーツ少年団交流参加者数(人)	25	51

※1 雨天により中止
※2 中央区オリジナルTシャツ申込者は区内在住・在学・在勤者を含む



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・友好都市の東根市とは双方で実施されるマラソン大会に互いに賞品を提供するほか、江戸バスのラッピングにより区民への認知度向上を図るなど、関係を深めており、東根市が実施する「さくらんぼマラソン大会」や「さくらんぼ種飛ばし大会」等のイベントの参加を通じ、相互の住民同士での交流活動が継続的に実施され、「さくらんぼマラソン大会」の中央区オリジナルTシャツの申込者数は年々増加傾向にあり、東根市との交流活動への認識が広がっている。
- ・「区のおしらせ ちゅうおう」において「友好都市・交流都市だより」として各都市の概要やイベント等を掲載することにより区民への周知を図っている。
- ・令和元年度は「大江戸まつり盆おどり大会」に友好都市である山形県東根市をはじめとした、交流都市のご当地マスコットキャラクターを誘致し、地域の魅力発信を充実させるなど、地域の発展とともに地域間交流の推進に寄与した。
- ・区内で実施されるイベントでの特産品の販売等が、各交流都市の文化や特色に対する区民の理解を深める機会となり、交流都市の産業振興の一助となっている。
- ・児童交歓会については、事業実施後も参加者同士で連絡を取り合うなど、区民・市民間で交流が進んでいる。自主的な交流を促進するための仕組みをさらに検討・実施していく。
- ・令和3年度に、本区と東根市の友好都市提携30周年を迎えるため、より交流を深められる企画とする必要がある。

② 今後の方向性

- ・既存の交流事業を継続的に実施することで、各交流都市との区民・市民間レベルの交流を促進するとともに、「特別区全国連携プロジェクト」等も含め、さまざまな機会を捉えながら、各都市・地域との連携を深めていく。
- ・児童交歓会については、参加者の意見を取り入れながら、参加者の思い出に残る企画を構築していく。また、本区の参加者同士の交流を図る事前交流会のほか、本区と東根市の参加者が事業終了後も交流を続けられるように、名刺の作成・交換を行うなど、コミュニケーションを活性化するための工夫を行っていく。
- ・中央区・東根市友好都市提携30周年に向けて、両都市の魅力を発信し合いながら、東根市とさらなる友好関係を築けるような企画をしていく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	平和事業の推進	中事業2	平和モニュメントの設置	中事業3	
平和推進事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・中央区平和都市宣言(昭和63年3月15日告示)を記念して開始した「平和の都市の楽しい集い」の開催、当時を物語る写真や戦災資料を展示する「平和展」や「小・中学校巡回平和展」、日ごろから平和について考えるきっかけの場を提供するため、戦災に関する写真や資料を公開する「平和祈念バーチャルミュージアム」等の各種平和事業の実施を通じ、区民への平和意識の普及・啓発に努める。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

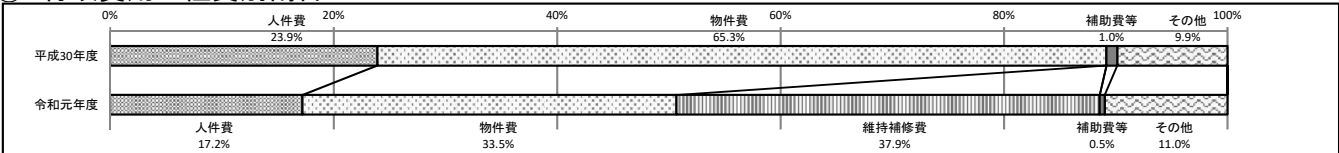
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,747,398	9,264,440	3,517,042	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	15,688,973	18,037,119	2,348,146		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	20,411,620	20,411,620		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	233,651	245,560	11,909		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,027,257	2,027,257	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	343,579	3,889,712	3,546,133		行政収支差額	△24,040,858	△53,875,708	△29,834,850
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
	小 計	24,040,858	53,875,708	29,834,850		通常収支差額	△24,040,858	△53,875,708	△29,834,850
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△21,668,973	△53,875,708	△32,206,735
特別収入		2,371,885	0	△2,371,885		一般財源充当調整	22,882,840	49,209,849	26,327,009
特別収支差額		2,371,885	0	△2,371,885		再計(一般財源調整後)	1,213,867	△4,665,859	△5,879,726

② 決算額の主な内訳

勘定科目	維持補修費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・平和モニュメント設置工事 20,282,020円 ・「平和の鐘」ピラミッド修繕工事 129,600円	決算額の主な内訳	・平和祈念バーチャルミュージアムホームページ改修業務委託等 7,705,760円 ・平和の都市の楽しい集い実施委託 4,458,200円 ・小・中学校巡回平和展、平和展実施委託 2,693,460円
主な増減理由	・平和モニュメント設置工事皆増 20,282,020円	主な増減理由	・Flash Playerサポート終了による平和祈念バーチャルミュージアムホームページ改修業務委託皆増 5,456,000円

勘定科目	減価償却費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・蛸殻町公園平和シンボル 1,030,000円 ・平和の鐘 770,600円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑 162,740円	決算額の主な内訳	・平和祈念バーチャルミュージアム有識者謝礼 225,000円
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	・平和祈念バーチャルミュージアム有識者謝礼増 25,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	343,579	543,321	199,742
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	43,543,770	41,516,513	△2,027,257	退職給与引当金	6,172,705	8,611,565	2,438,860
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	6,516,284	9,154,886	2,638,602
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	37,027,486	32,361,627	△4,665,859
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	43,543,770	41,516,513	△2,027,257
資産の部 合計	43,543,770	41,516,513	△2,027,257				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・蛸殻町公園平和シンボル 22,660,000円 ・平和の鐘 14,641,400円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑 3,417,540円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	・蛸殻町公園平和シンボル減価償却による減 △1,030,000円 ・平和の鐘減価償却による減 △770,600円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑減価償却による減 △162,740円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

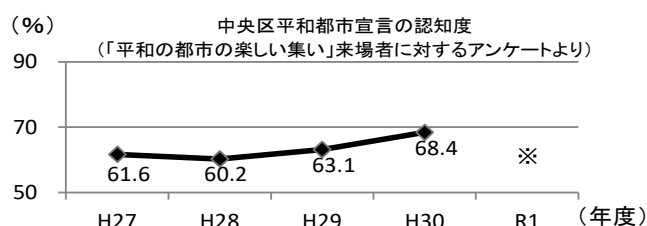
項目	平成30年度	令和元年度
平和の都市の楽しい集い来場者数(人)	753	0(※)
平和祈念バーチャルミュージアムアクセス数(件)	5,375	9,508
平和資料(写真)保存数累計(枚)	334	342
平和資料(物品)保存数累計(点)	267	272

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○各事業のアンケートの意見(抜粋)

【平和展】 大切に学べき展示だと思った。年代関係なくより深く学ぶための工夫をしていくべきだと感じた。区民問わず、代問わず、学べき貴重な展示でした。

【巡回平和展】(児童・生徒) 平和が当たり前だと思っていたけれど、過去に起きた戦争が恐ろしいと思い、平和は当たり前だと思えなくなった。また、平和でよかったと思った。(教員) 今回の展示をきっかけに6年児童の中には「未来を担う自分たちが戦争を起こさないようにしなければならない」という感想を述べ、考えさせるよいきっかけとなりました。



4 総括

① 現状・成果・課題

・当時を物語る写真や戦災資料を公開展示する「平和展」を毎年開催するとともに、平和祈念バーチャルミュージアムにおいて新しいコンテンツを毎年追加するなど、平和意識の普及・啓発を図るとともに、区立の小・中学校において「巡回平和展」を実施し、社会の授業で活用してもらうことなどにより、平和について考える契機づくりに寄与している。

・各種平和事業の実施により、中央区平和都市宣言の認知度は比較的高い水準で推移している。戦後75年の歳月が経過し、戦争の記憶を後世に伝えることがますます難しくなる中、引き続き平和意識の普及・啓発を行う必要がある。

・東京2020大会の開催を契機として、「オリンピック・パラリンピックと平和」をテーマに平和モニュメントを作成した。令和元年度に完成披露式典を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に延期した。

② 今後の方向性

・悲惨な戦争の記憶の風化が懸念される中、今後も平和に関する資料の収集・保存を進めるとともに、平和の大切さ、尊さを見つめ直す機会を提供し、平和に関する普及・啓発事業を持続的に展開していく。

・令和元年度の「平和の都市(まち)の楽しい集い」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、令和2年度については実施に向けて必要な措置を講じていく。

・延期した「平和モニュメント完成披露式典」も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、東京2020大会の開催に向け、平和祈念バーチャルミュージアムに新たなページを追加するとともに、各種平和事業を紹介するチラシを新しく作成するなどの周知を行い、平和意識の向上を図っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	国際交流の推進	中事業2		中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
国際交流の推進事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・姉妹都市との交流や異文化とのふれあいを通して区民の国際意識の向上と国際都市にふさわしい文化を育む。また、外国人向けの情報の充実や区民が主体となて行う国際交流事業を通じ、外国人区民が地域の文化や習慣に親しめる暮らしやすいまちにする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

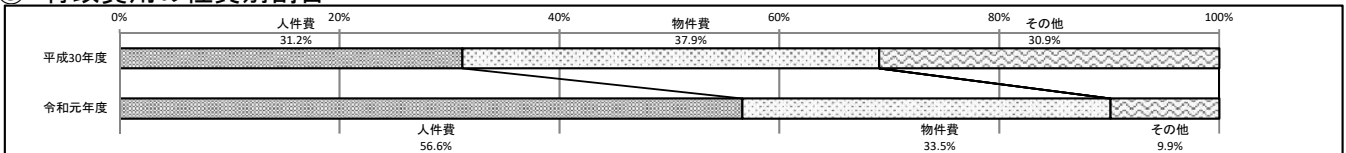
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,111,816	5,441,352	329,536	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	6,208,158	3,215,011	△2,993,147		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,068,221	948,959	△4,119,262	行政収支差額		△16,388,195	△9,605,322	6,782,873
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		16,388,195	9,605,322	△6,782,873	通常収支差額		△16,388,195	△9,605,322	6,782,873
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△16,388,195	△9,605,322	6,782,873
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		11,319,974	9,442,180	△1,877,794
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△5,068,221	△163,142	4,905,079

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・通訳・翻訳に係る人材派遣 3,134,464円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・外国人向けガイドブック作成費皆減(3年ごと) △2,258,280円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

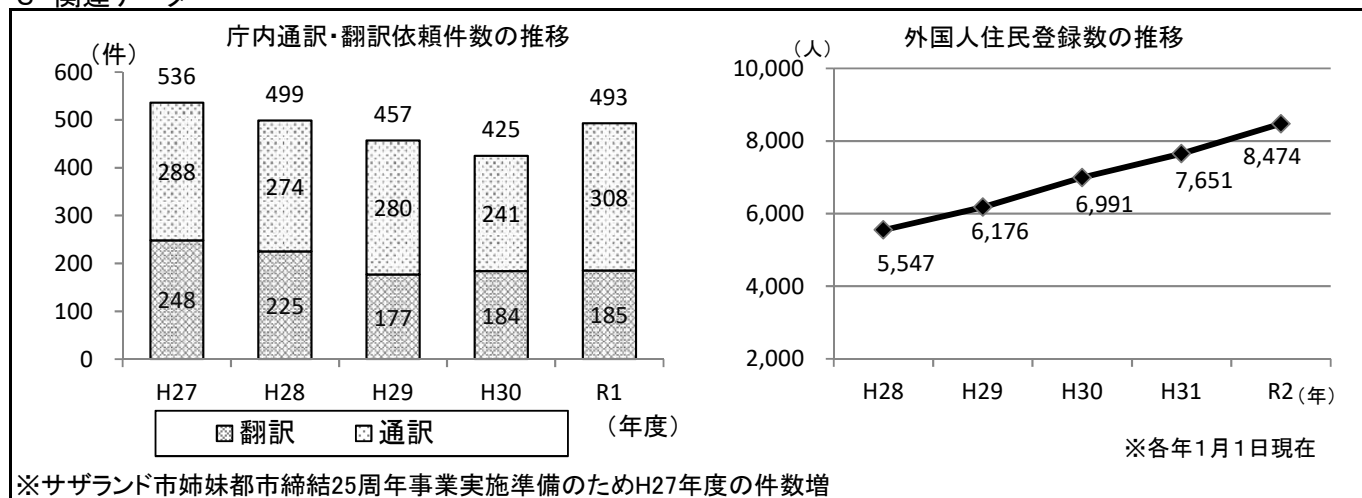
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	267,228	310,469	43,241
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	4,800,993	4,920,894	119,901
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	5,068,221	5,231,363	163,142
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△5,068,221	△5,231,363	△163,142
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・姉妹都市であるオーストラリアのサザランド市と5年に1度、周年行事として代表团による訪問と受け入れを行っている。
 ・外国人からの各種相談は行政サービスのほか、個人の身辺相談等多岐にわたっており、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら、外国人が理解しやすくなるための対応を適切に行っている。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で外国人観光客は一時的に激減しているが、東京2020大会等を契機とした観光客および外国人区民の増加を見据えて、引き続き、多様化・複雑化する相談内容への対応が必要となる。
 ・生活ガイドブックを転入時に配布し、本区の行政サービス等の案内を行う際に積極的な活用を促し、外国人が暮らしやすいまちづくりを進めている。(3年ごとに改定、直近は平成30年度。)

② 今後の方向性

・引き続き、通訳については、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら外国人が理解しやすくなるための対応を適切に行い、また、翻訳については、依頼者である職員と通訳担当が連絡を密に取りながら行政サービス等の情報をより正確に翻訳するよう努めていく。
 ・外国人区民が日常生活に役立てられる行政サービスについて、東京都主催の会議や研修会に参加するなどさまざまな機会を捉えて把握に努め、都度、生活ガイドブックに反映させていく。

令和2年度(令和元年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部文化・生涯学習課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	「中央区文化・国際交流振興協会」助成	中 事 業 2		中 事 業 3	
「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・本区で生活する人々が主体的に文化活動や国際交流を進め、人間性豊かで住みやすく、楽しく、誇れるまちにしていけるために設立された中央区文化・国際交流振興協会（以下、「協会」という。）に対して、その円滑な事業運営を図るために助成を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

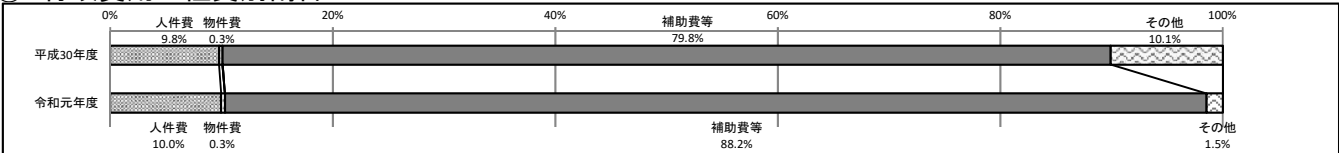
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	11,684,149	11,519,926	△164,223	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	372,409	386,683	14,274		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	95,429,922	102,021,901	6,591,979		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	451,392	451,392	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	11,584,504	1,244,951	△10,339,553		行政収支差額	△119,522,376	△115,624,853	3,897,523
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		119,522,376	115,624,853	△3,897,523		通常収支差額	△119,522,376	△115,624,853	3,897,523
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△119,522,376	△115,624,853	3,897,523
特別収入		0	0	0		一般財源充当調整	107,486,480	115,641,318	8,154,838
特別収支差額		0	0	0		再計(一般財源調整後)	△12,035,896	16,465	12,052,361

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・協会助成金 102,021,901円	決算額の主な内訳	・新富分庁舎(協会分) 451,392円
主な増減理由	・まるごとミュージアム運営委託料増による協会助成金増 6,591,979円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・光熱水費および施設維持管理費 386,683円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	・施設維持管理費実績増 10,905円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

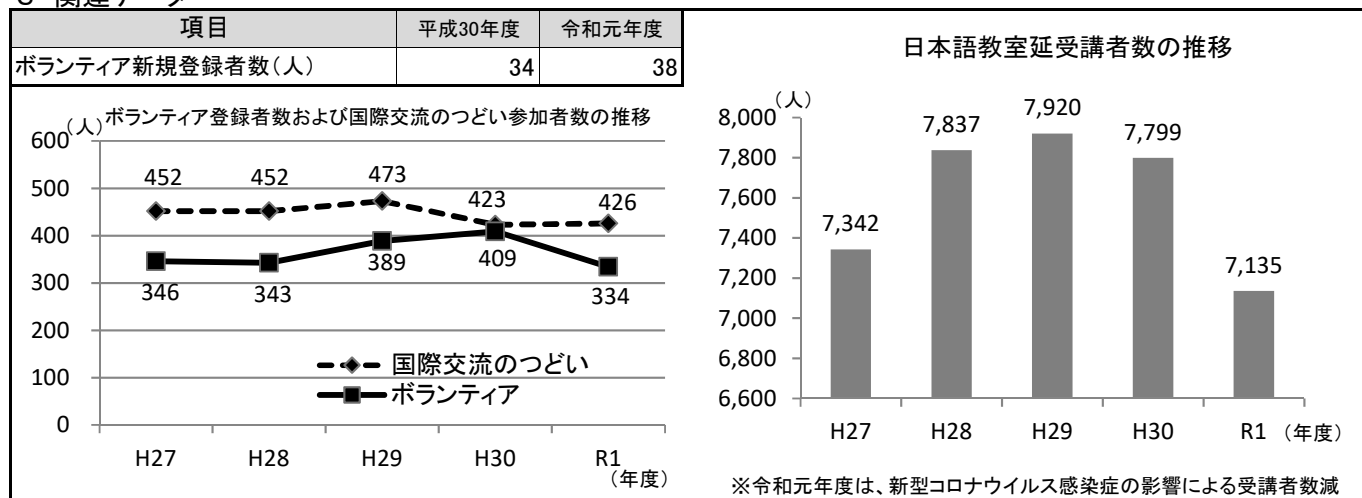
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	610,807	659,747	48,940
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	10,973,697	10,456,900	△516,797
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	11,584,504	11,116,647	△467,857
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△11,584,504	△11,116,647	467,857
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
—	—
勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
—	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- 文化振興事業については、各種文化事業(古典芸能鑑賞会やコンサート等)の開催や文化事業への助成・後援等により、区民が文化に触れる機会の充実や区民主体で行われる文化活動に対し支援することができた。
- 国際交流振興事業については、「国際交流のつどい」や「国際交流サロン」等の開催により、異文化理解・相互理解を促進している。
- 「日本語教室」においては、外国人区民等の増加に伴い、受講者数が増えているが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響により受講者数は減少した。また、曜日や実施時間によっては抽選となることから、より多くの外国人区民に受講してもらうためには実施場所等について検討していく必要がある。
- 協会登録のボランティアの登録の更新(3年ごと)を行った結果、高齢や家庭の事情等の理由により登録者数は減っているが、新規登録者数においては平成30年度より増加している。今後は、保健センターで実施している1歳6カ月児健診等での通訳のほかに活動場所の拡大や、一人一人のスキルアップ等への活動支援を引き続き強化していく必要がある。

② 今後の方向性

- 区民が文化に触れる機会をより多く持つってもらうため、各種文化事業の一層の充実を図るとともに継続的な活動への支援を行っていく。
- 協会が実施する「日本語教室」をはじめとする国際交流事業について、実施場所の検討や日本語教室の受講機会を増やすため、日本語指導者養成講座を受講したボランティアに日本語教室の開催を促すなど、外国人区民等を対象とする各種国際交流事業に対し支援していく。
- 協会に登録している通訳・翻訳ボランティア等が多様な分野で活躍できるよう、引き続き、協会が依頼内容の確認等の支援をしていく。

